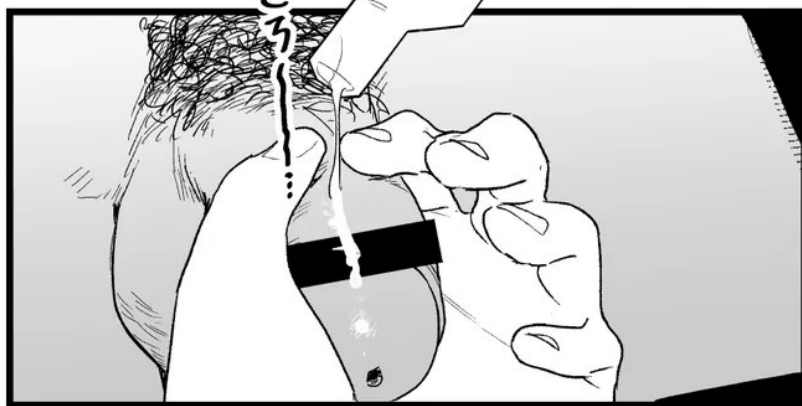


シイ様、

射精させてください。

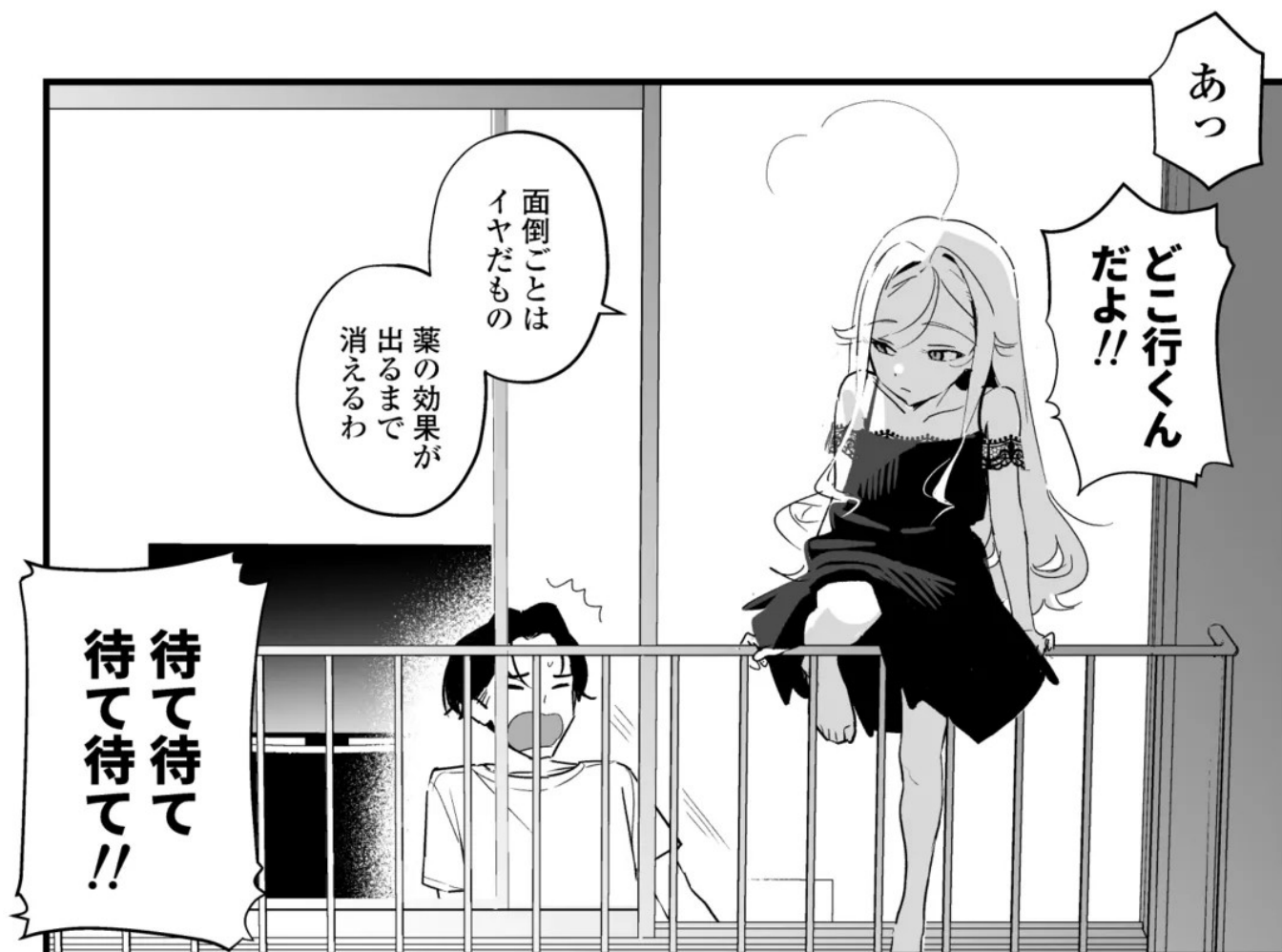
著 京のごはん 配信

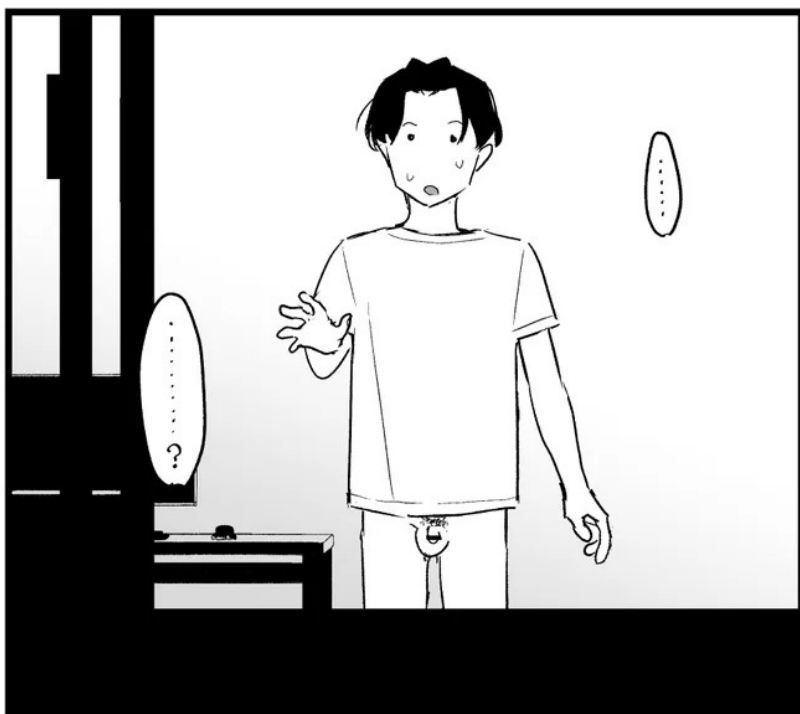
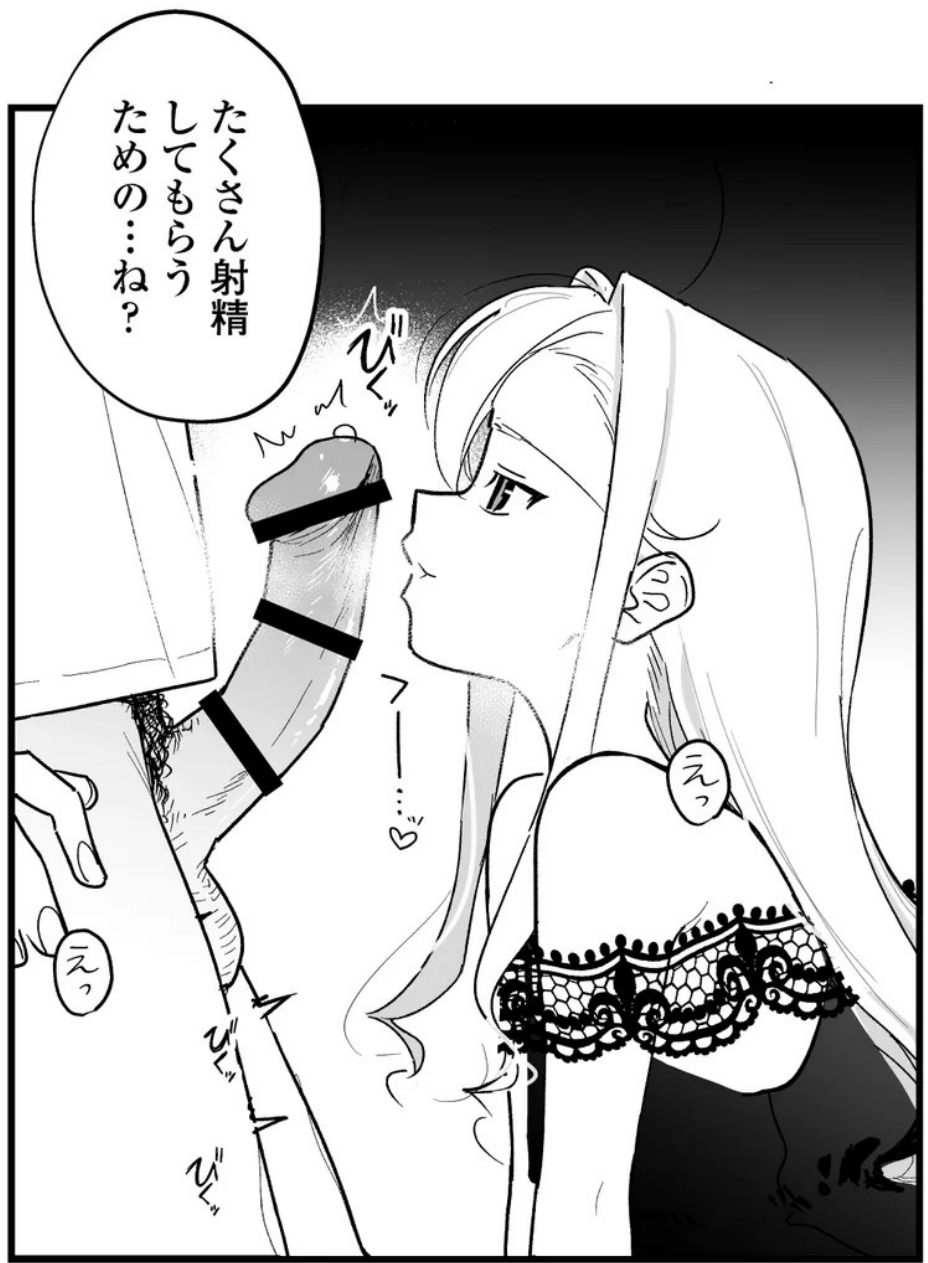


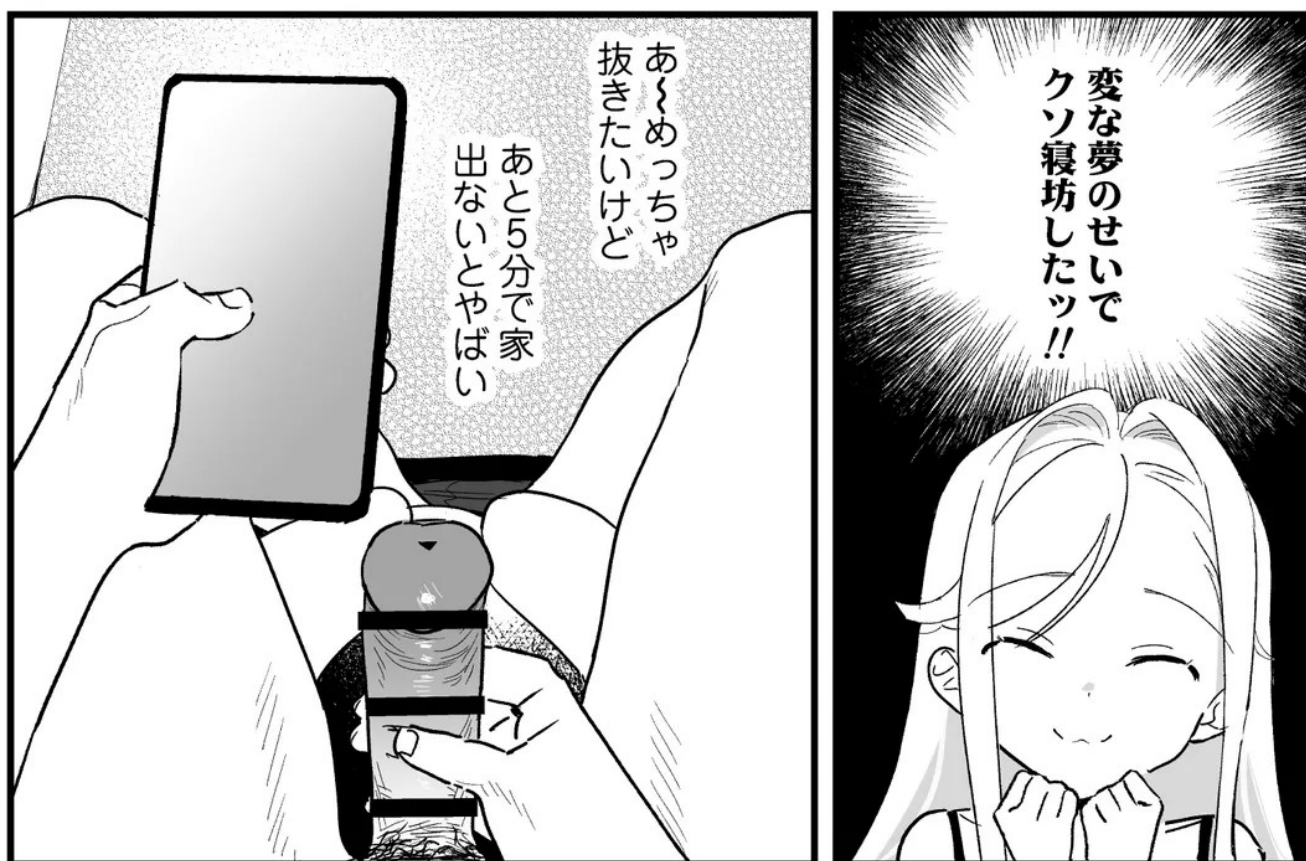












ニヤ...

くっそ〜!!

放課後

サークルに
顔を出した瞬間
女子に囲まれ

満更でもない俺は
普段滅多に行かない
サークルの飲み会に
行くことにした

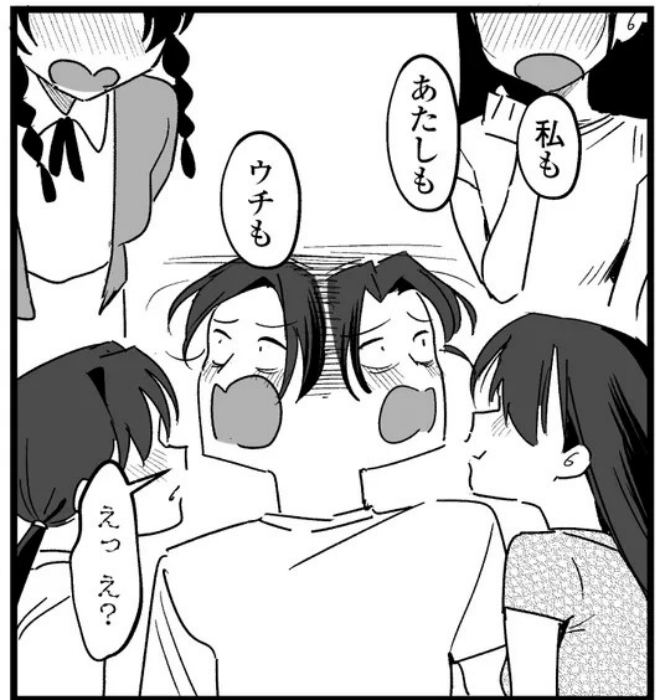
ねえねえ

ドキ

ドキ

ドキ

この後 さわ..
空いてる？

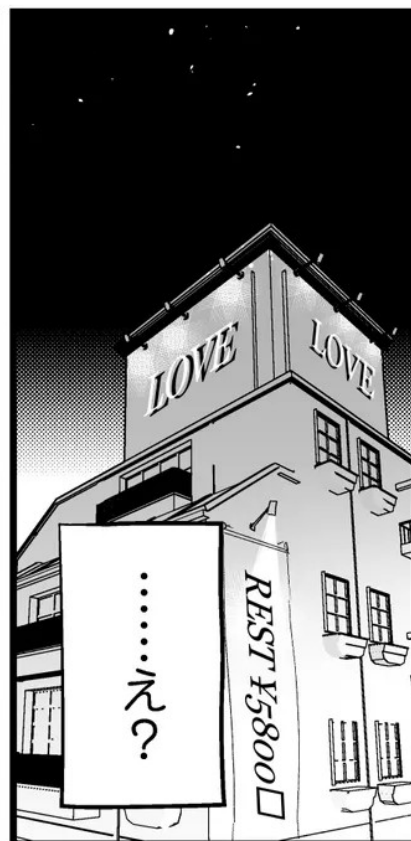


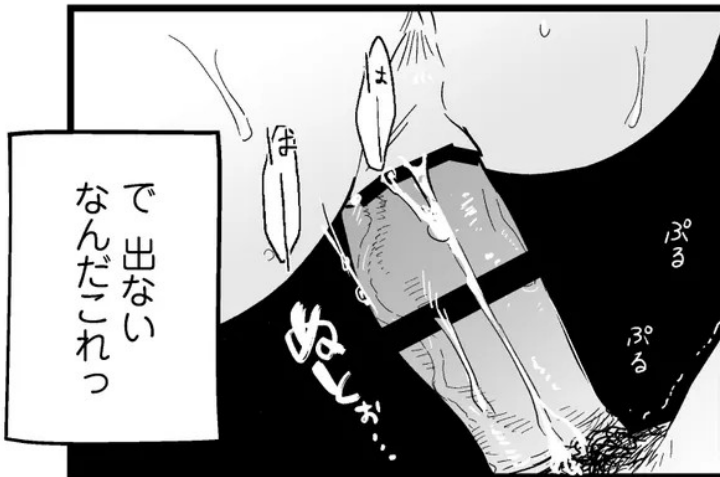
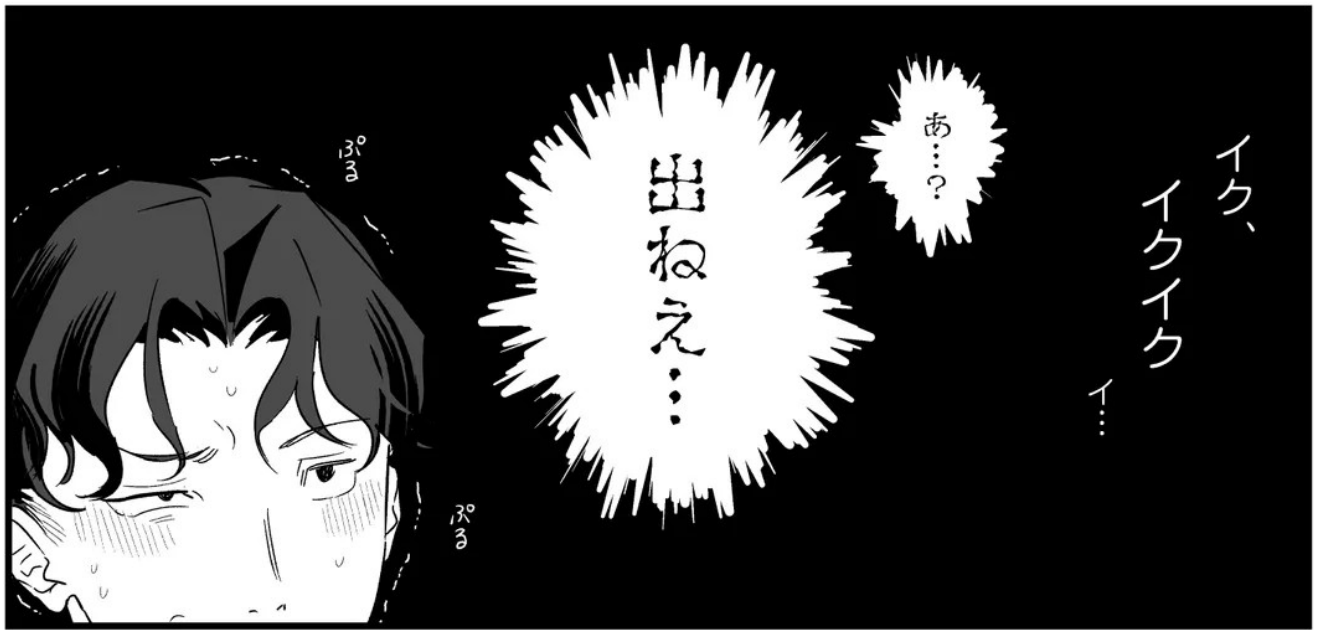


翌日









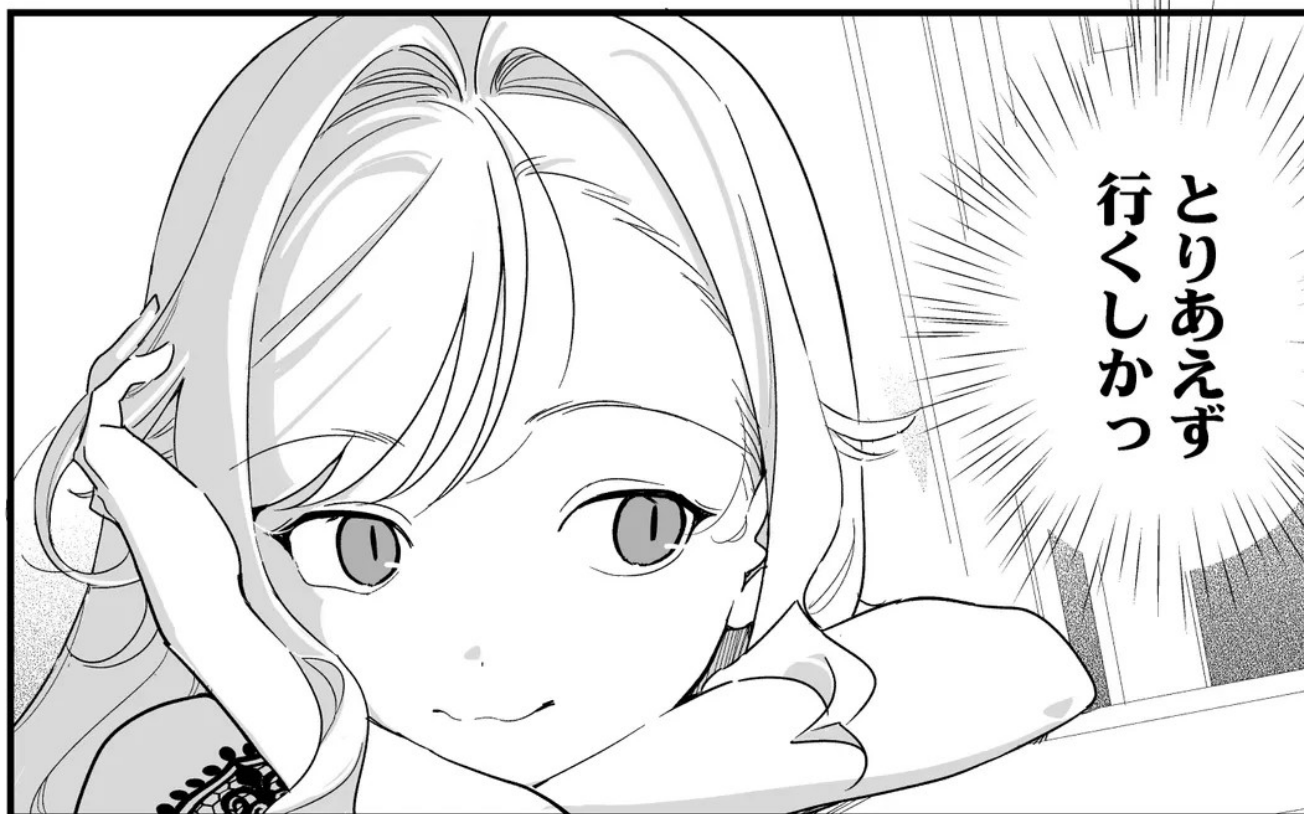


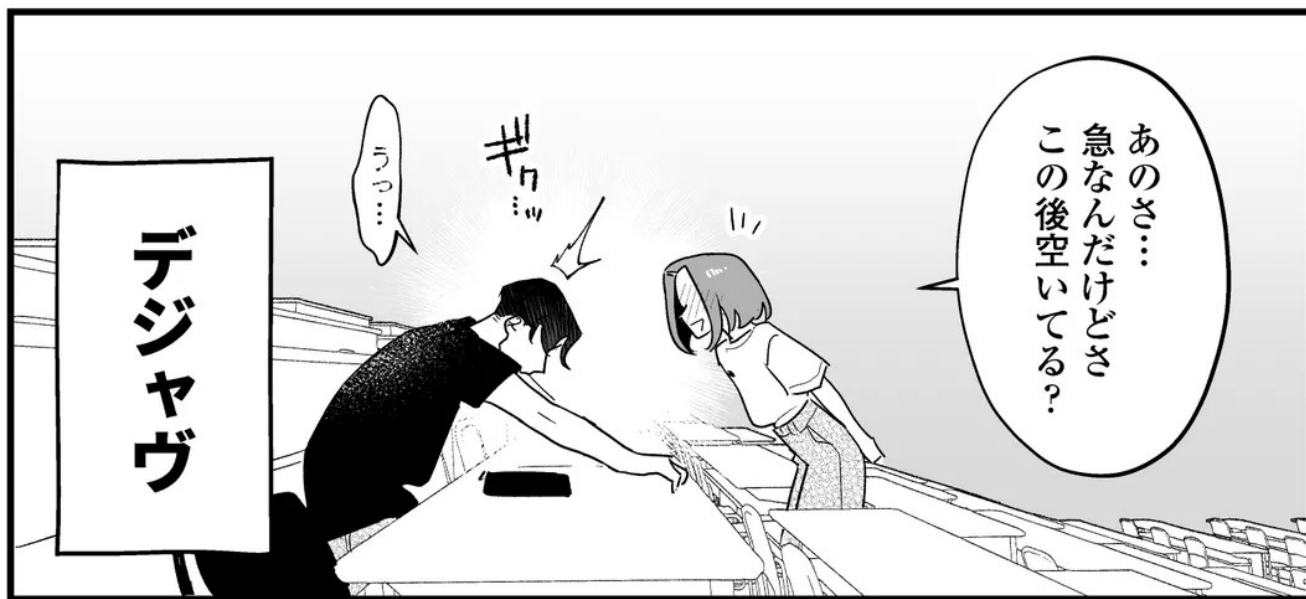
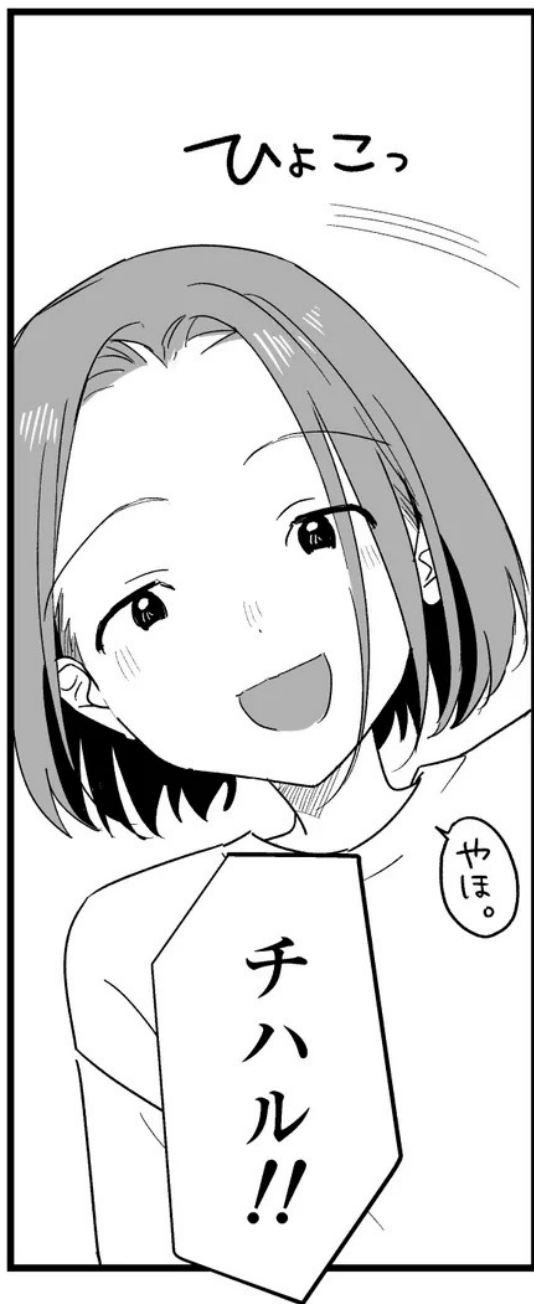
さらさら
さらさら
翌朝





だめだ
こりゃ





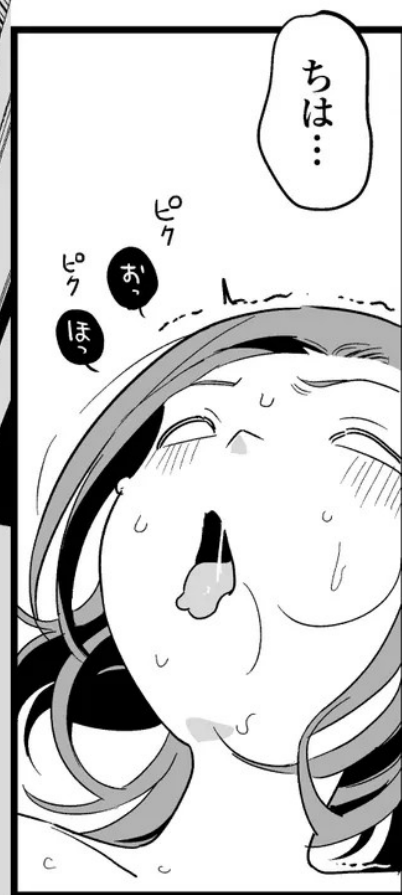
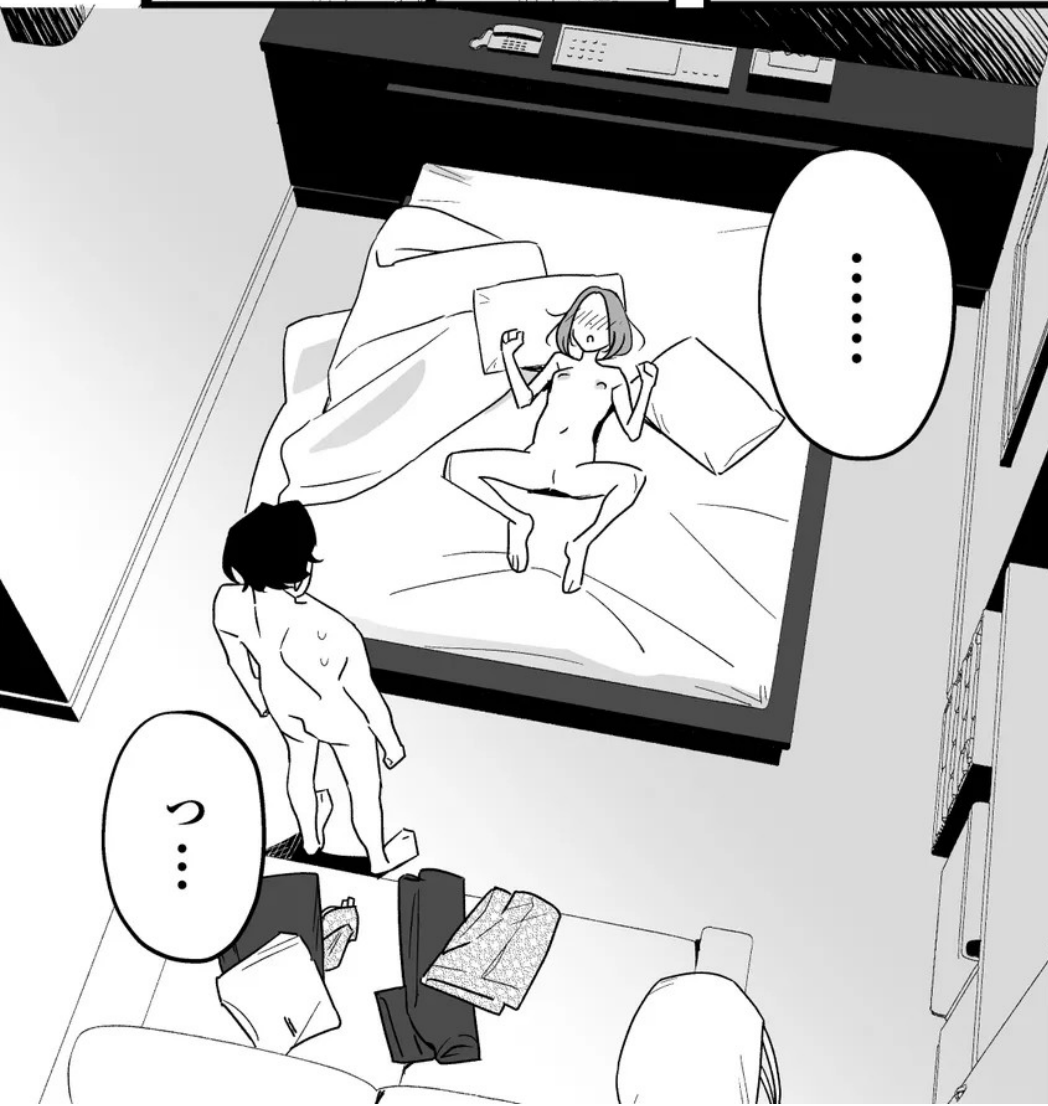


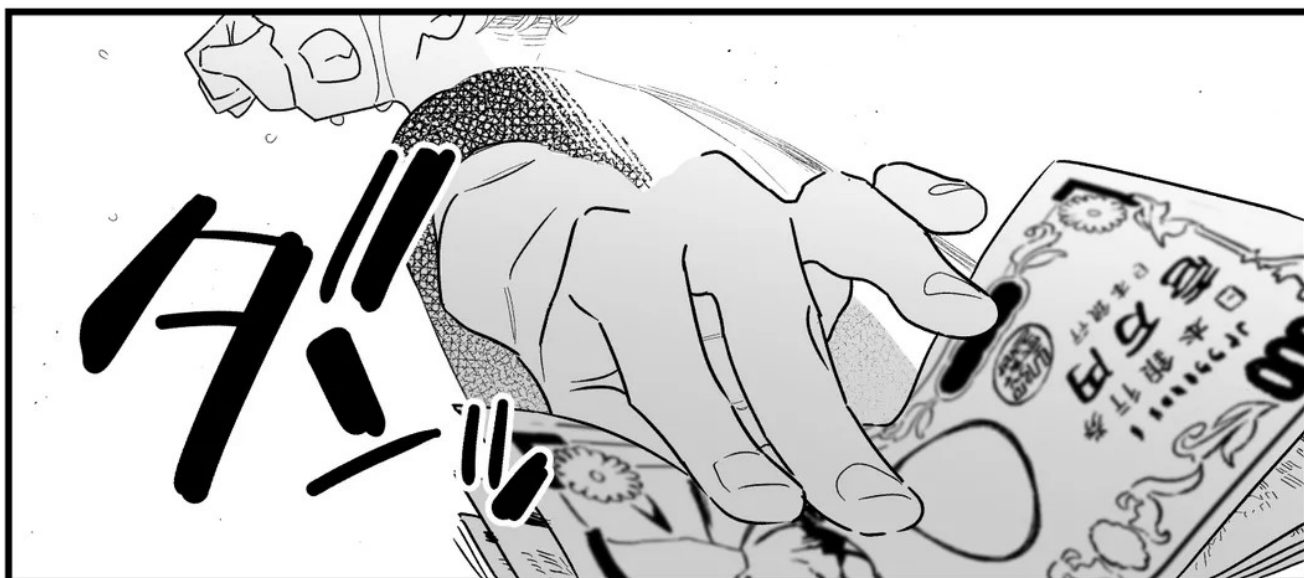
やっぱりっ

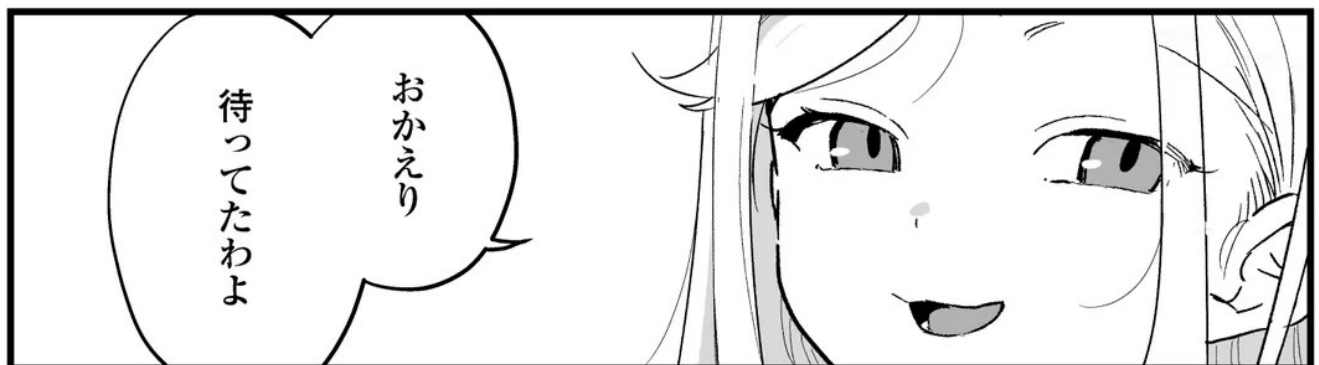
射精
できねえ!!

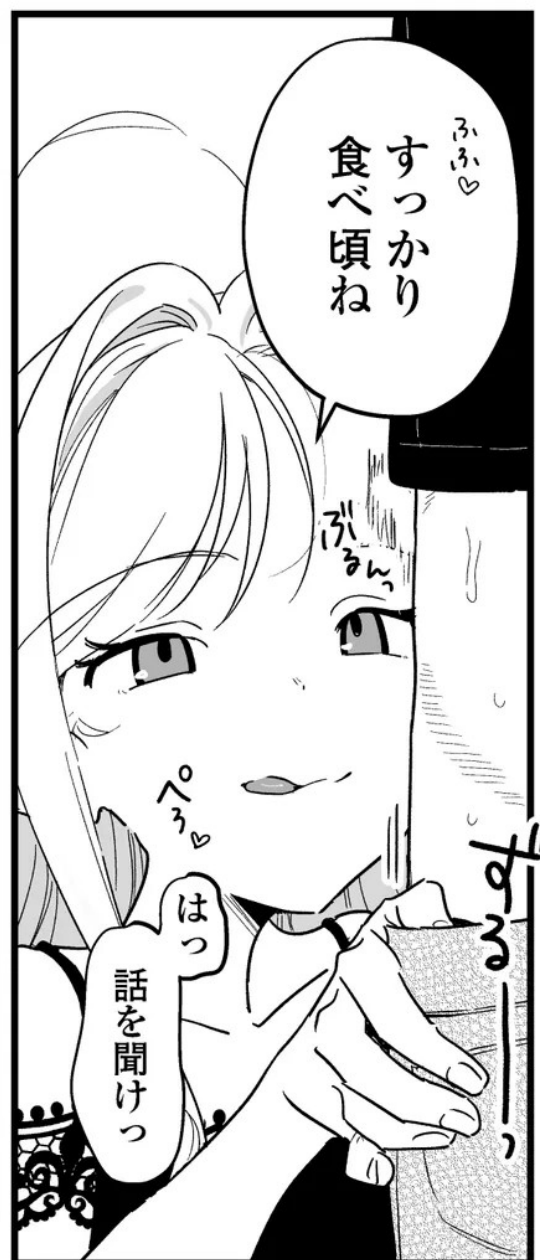
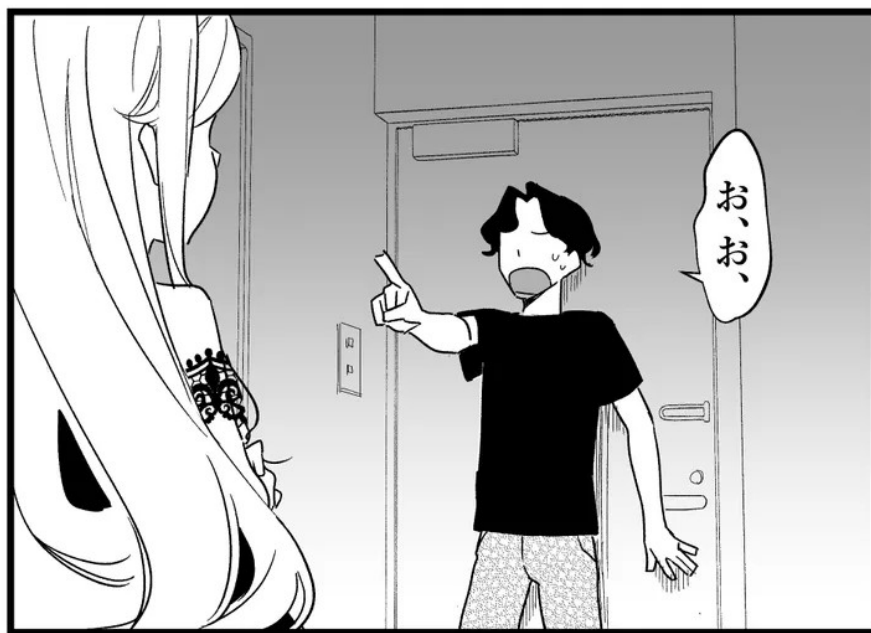
こんなに
気持ちいいのに

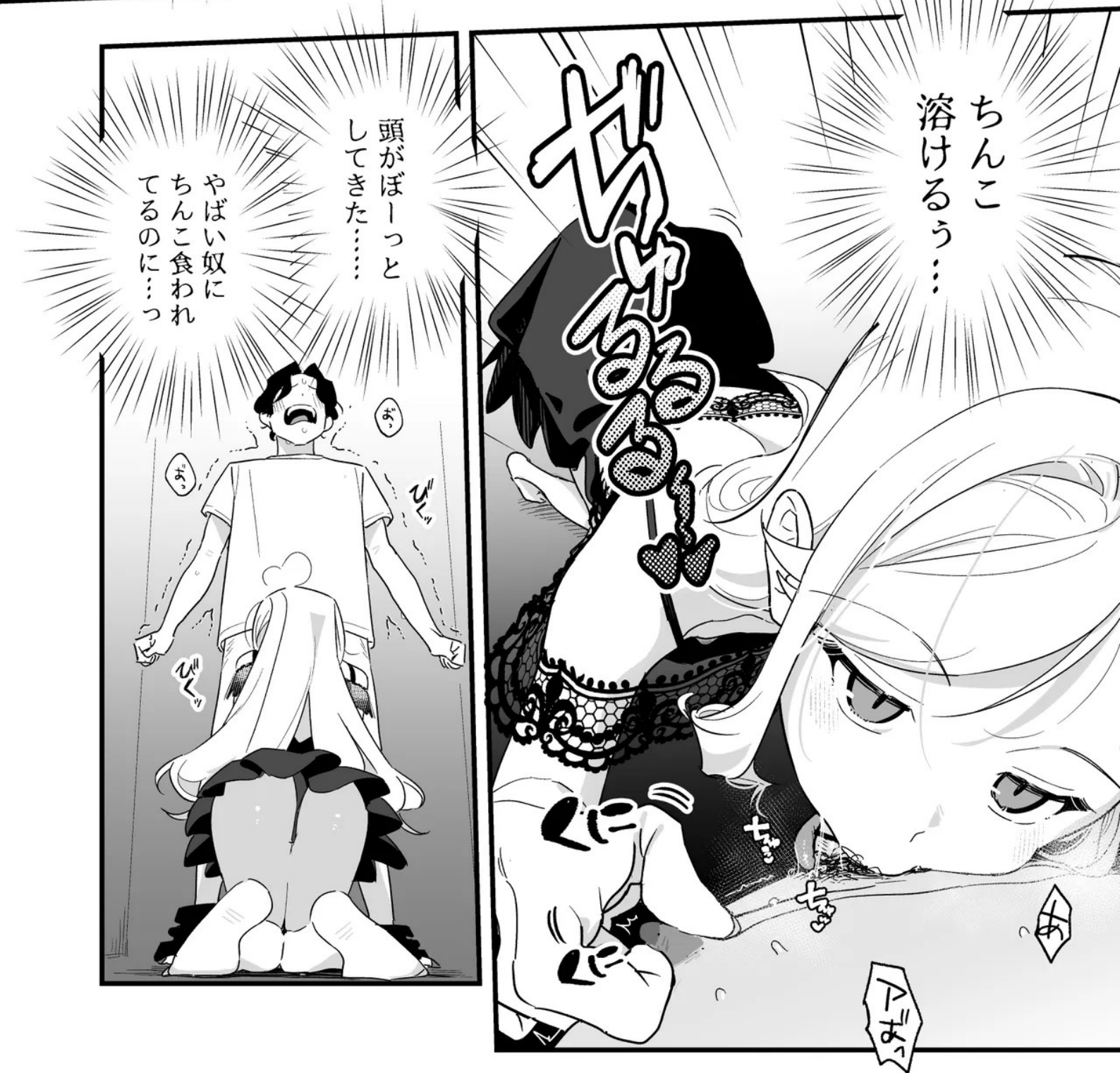
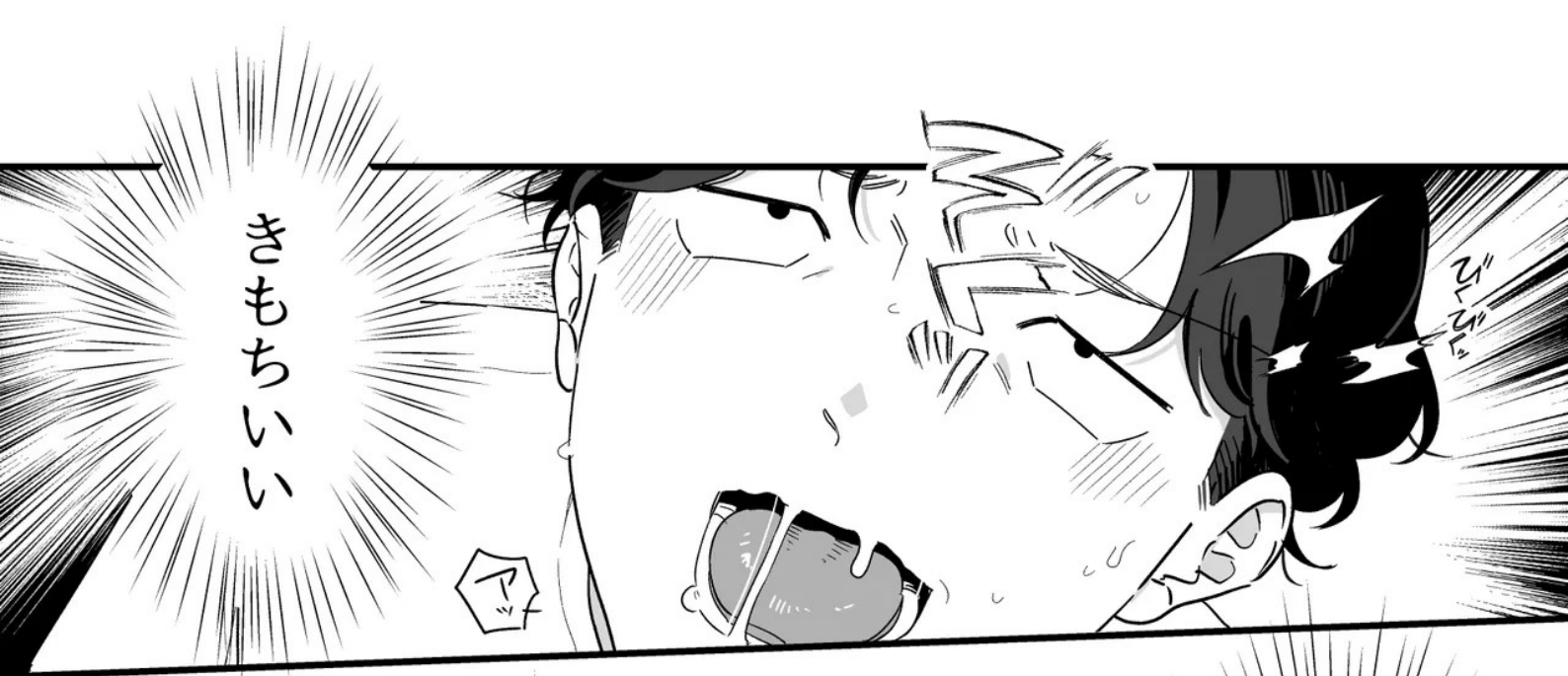
チハルはこんなに
ぐちゃぐちゃに
なってんのにな













広がって…



腰の奥の重くて
甘ったるいのが



やばいやばい
だめだめだめ

こんな絶対
射精したら
やばいつて

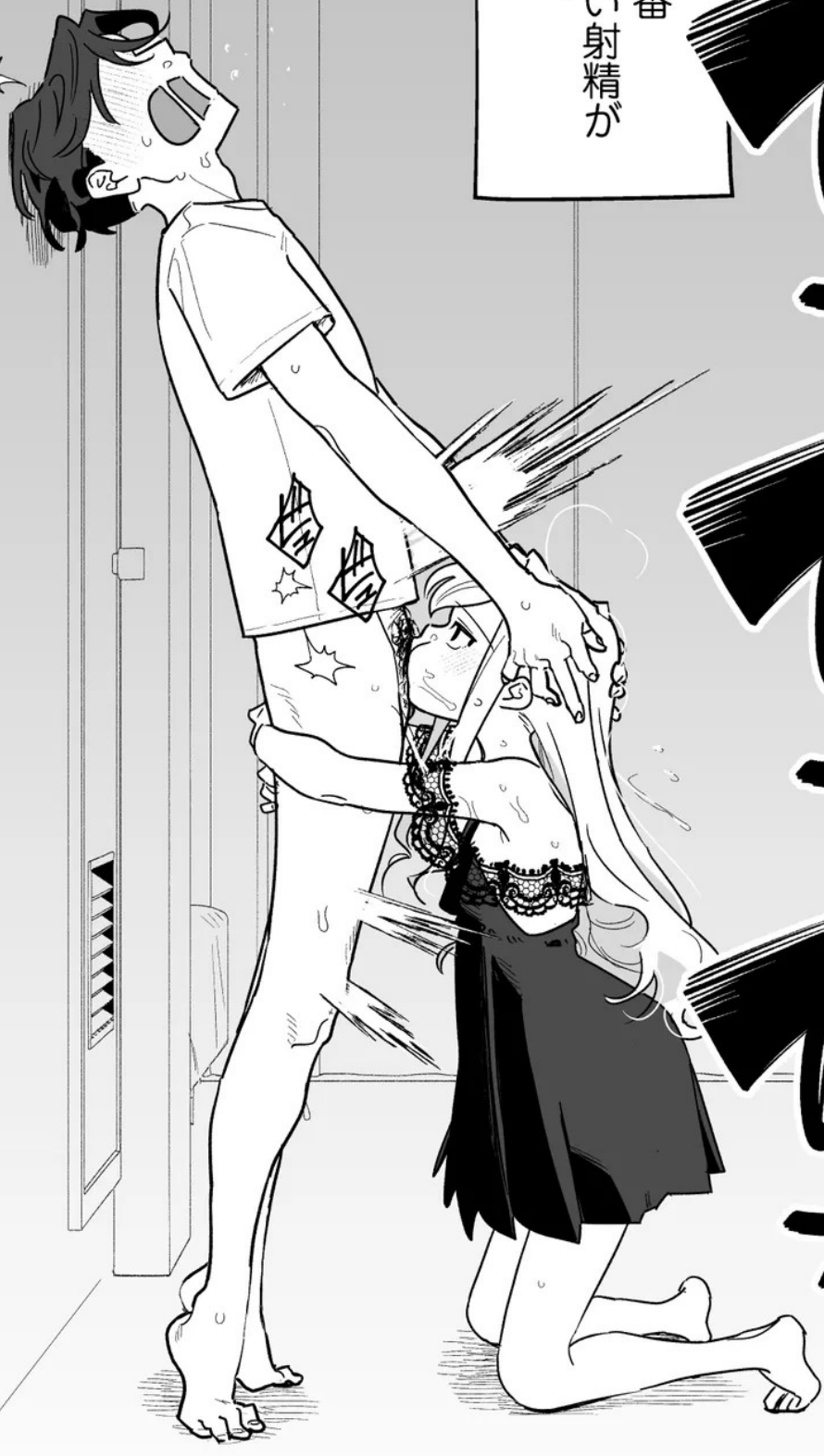
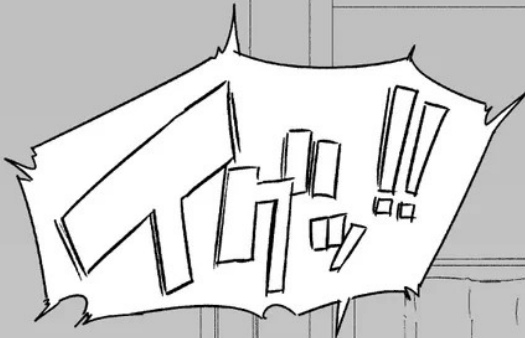


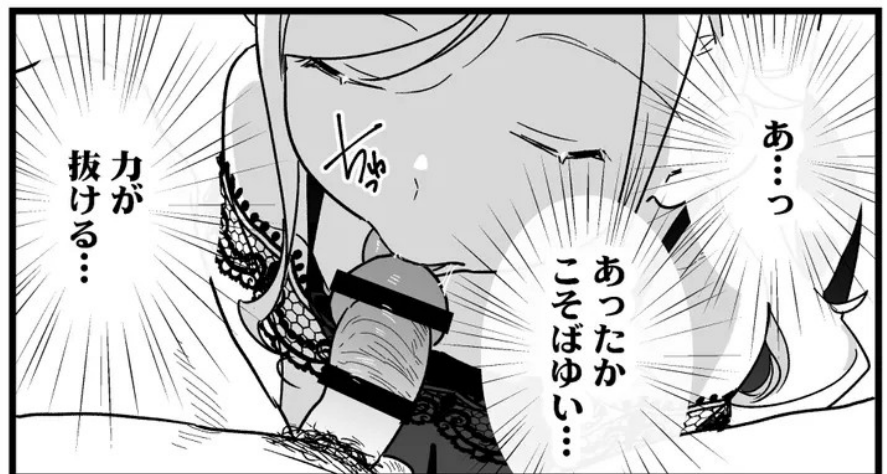
わかってる
のにイクッ

イクッ

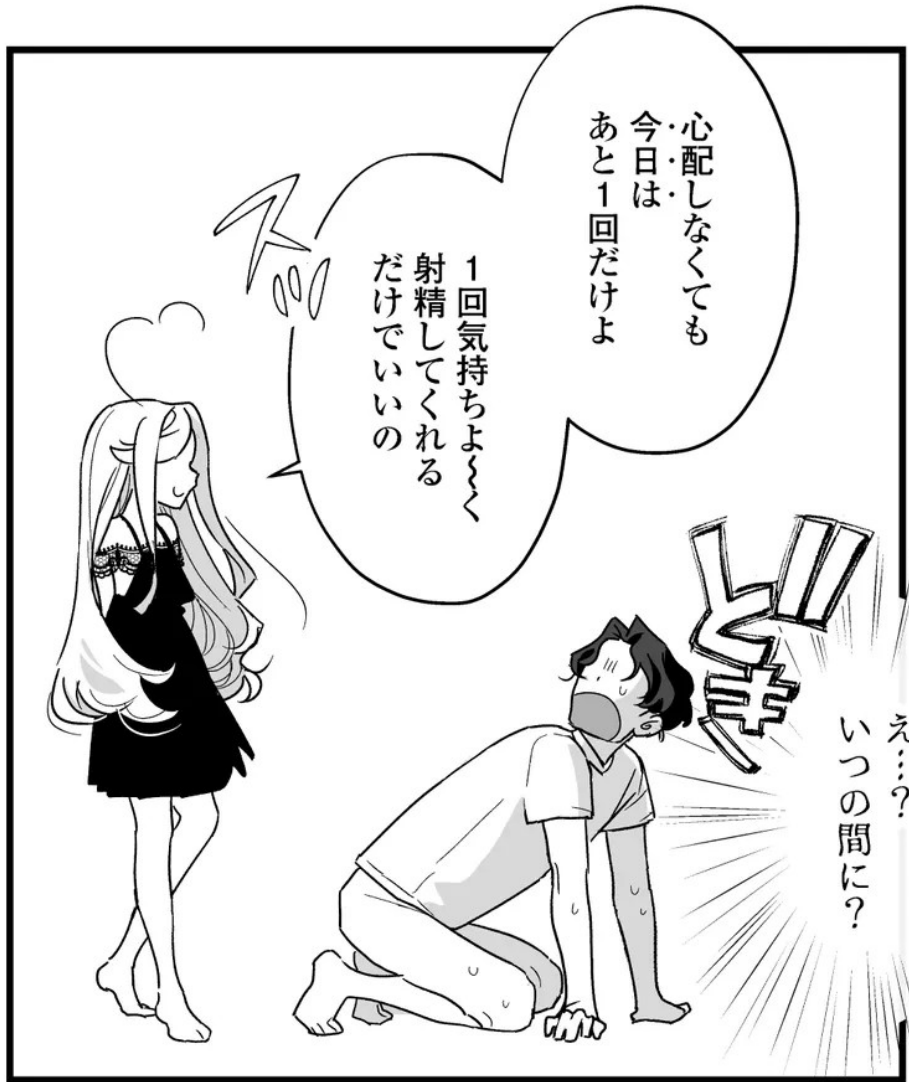
その瞬間、

人生で一番
気持ちいい射精が
始まった。









まず本当に
あと1回か？

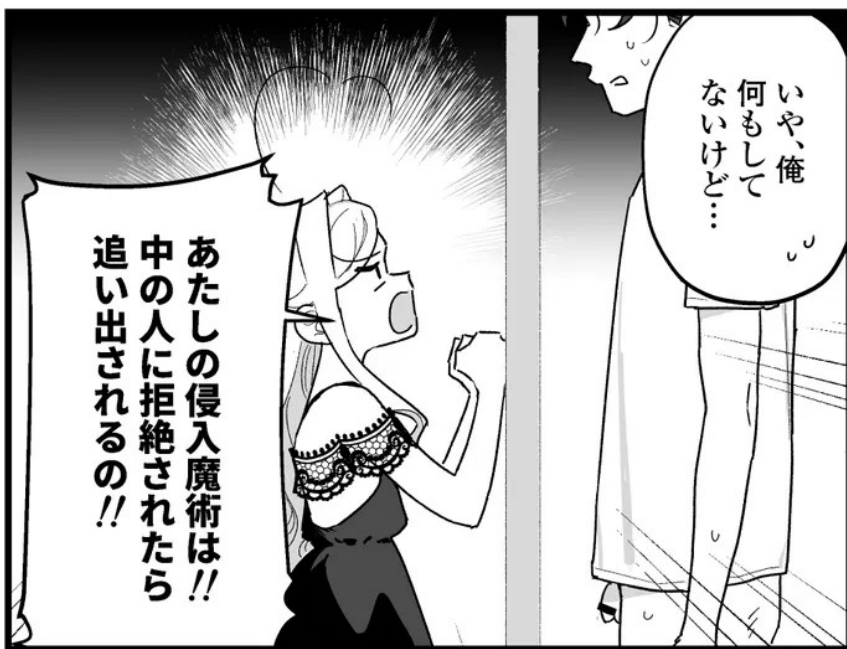
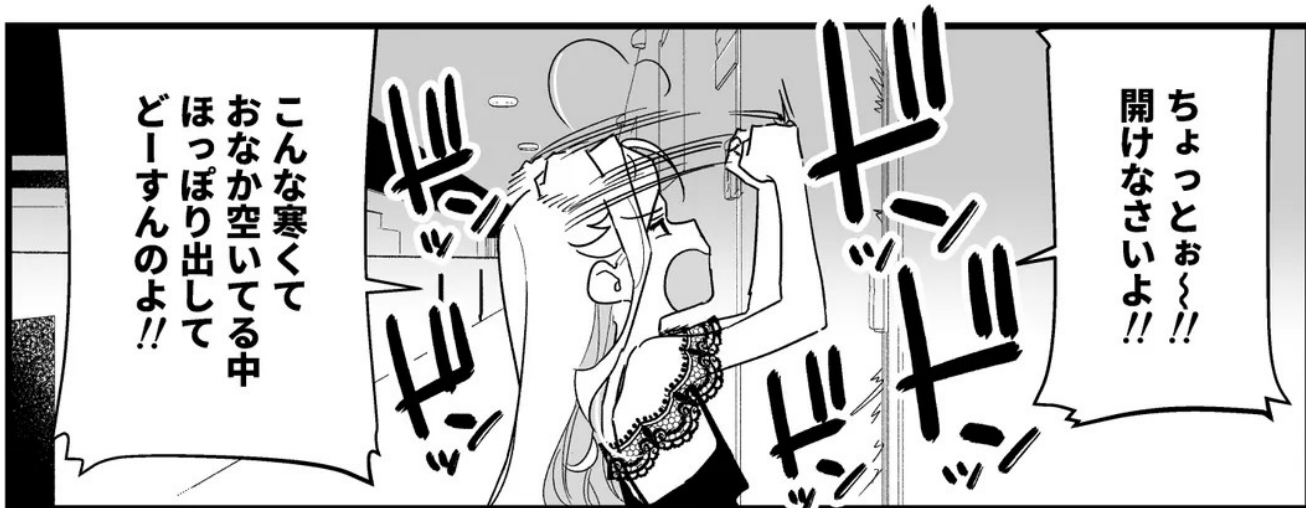
そう言って何回も
死ぬまで吸われたり
するんじゃないか？

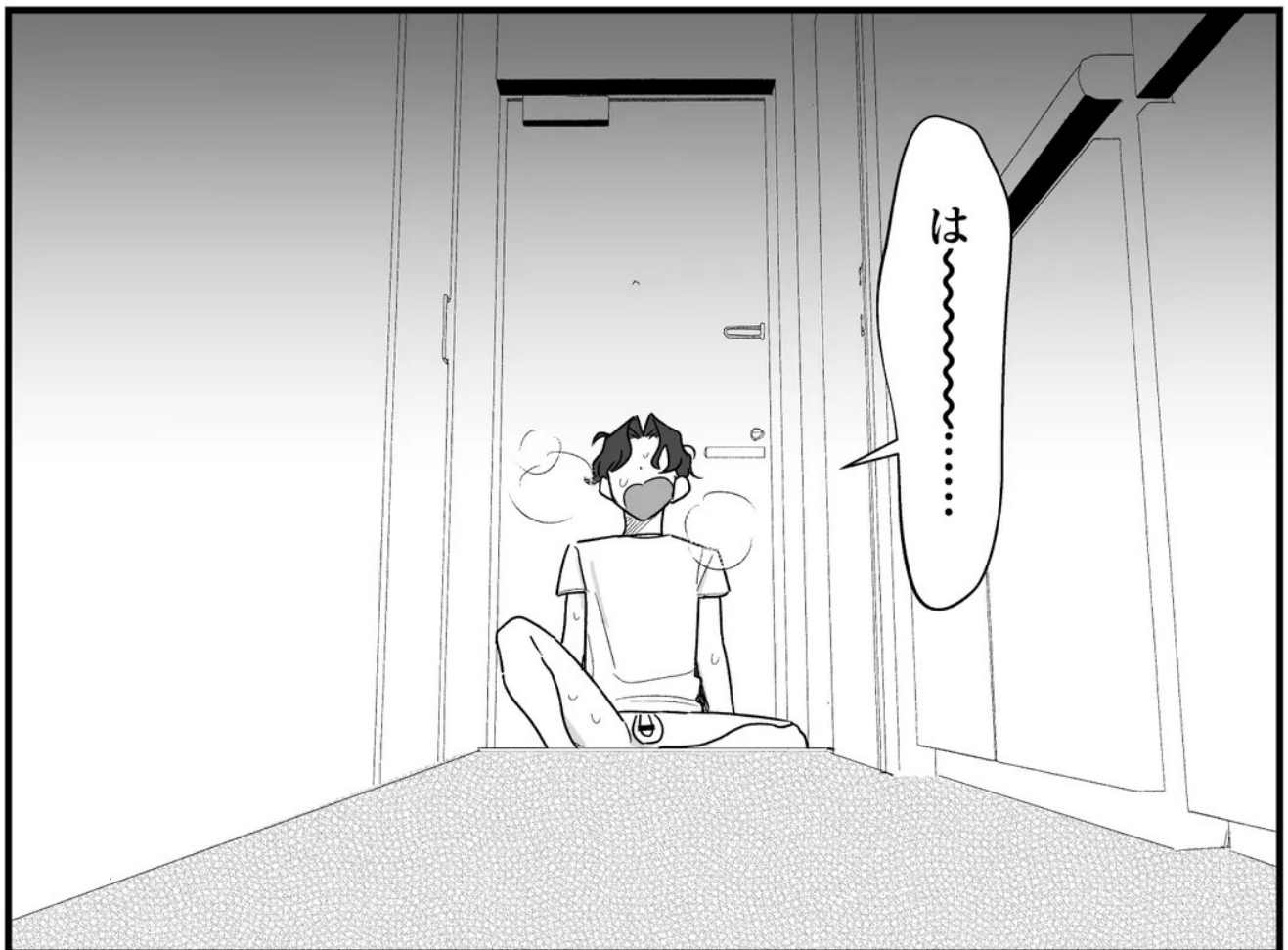
てか今のでちんこは
本当に治ったのか？

そもそも射精
できなくさせたのは
こいつなのでは？

こいつに射精権を
握られても
いいのか？



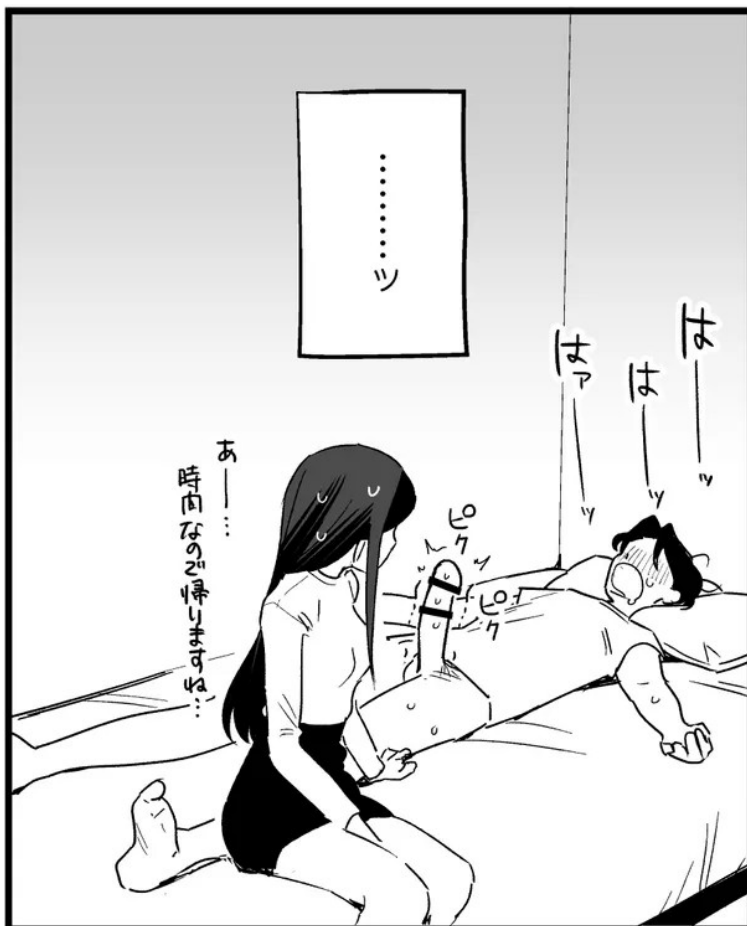
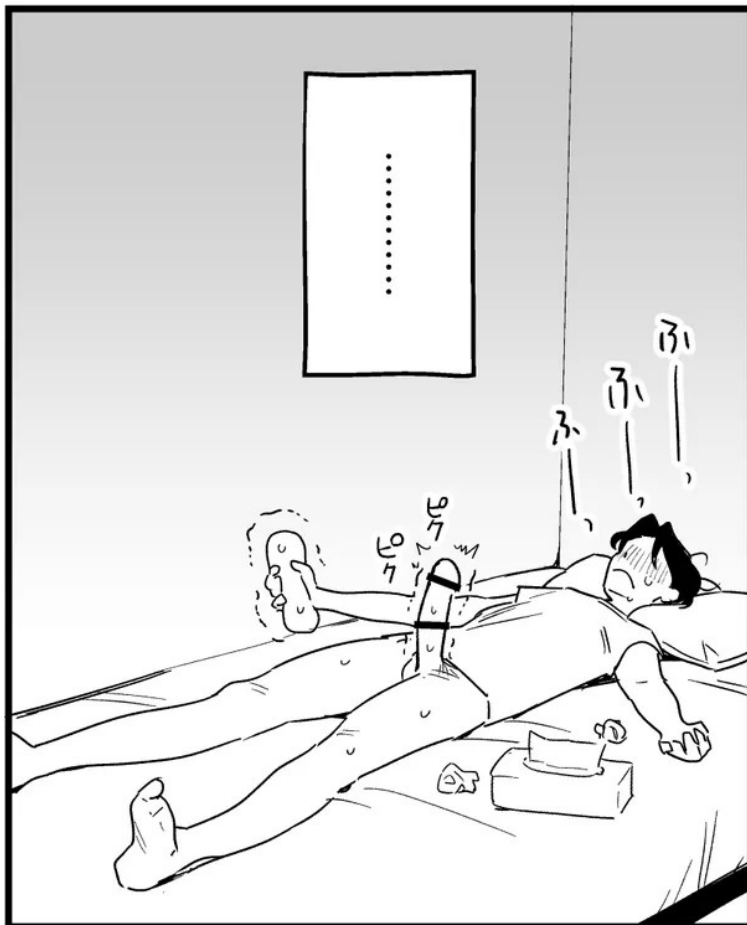








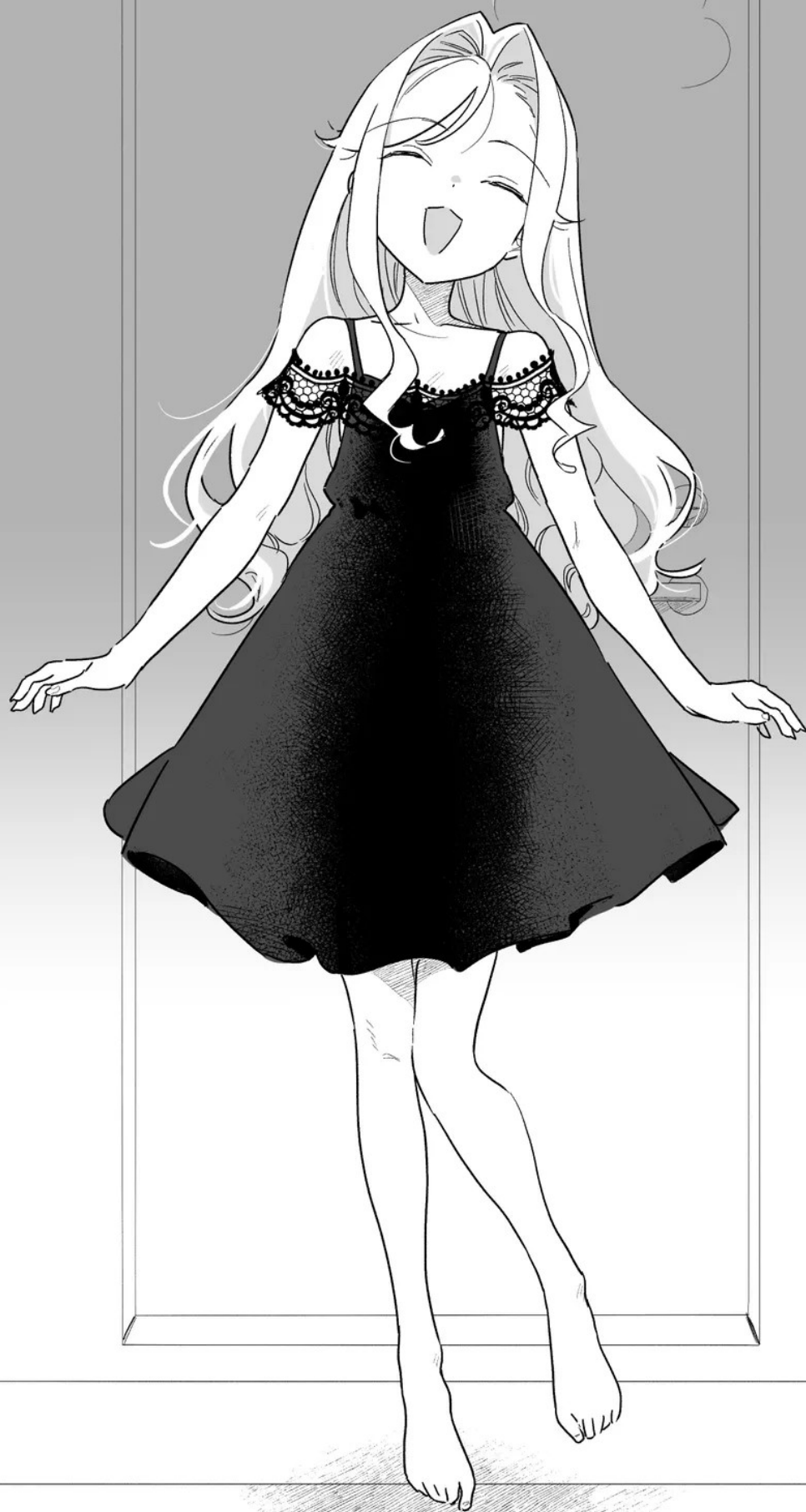




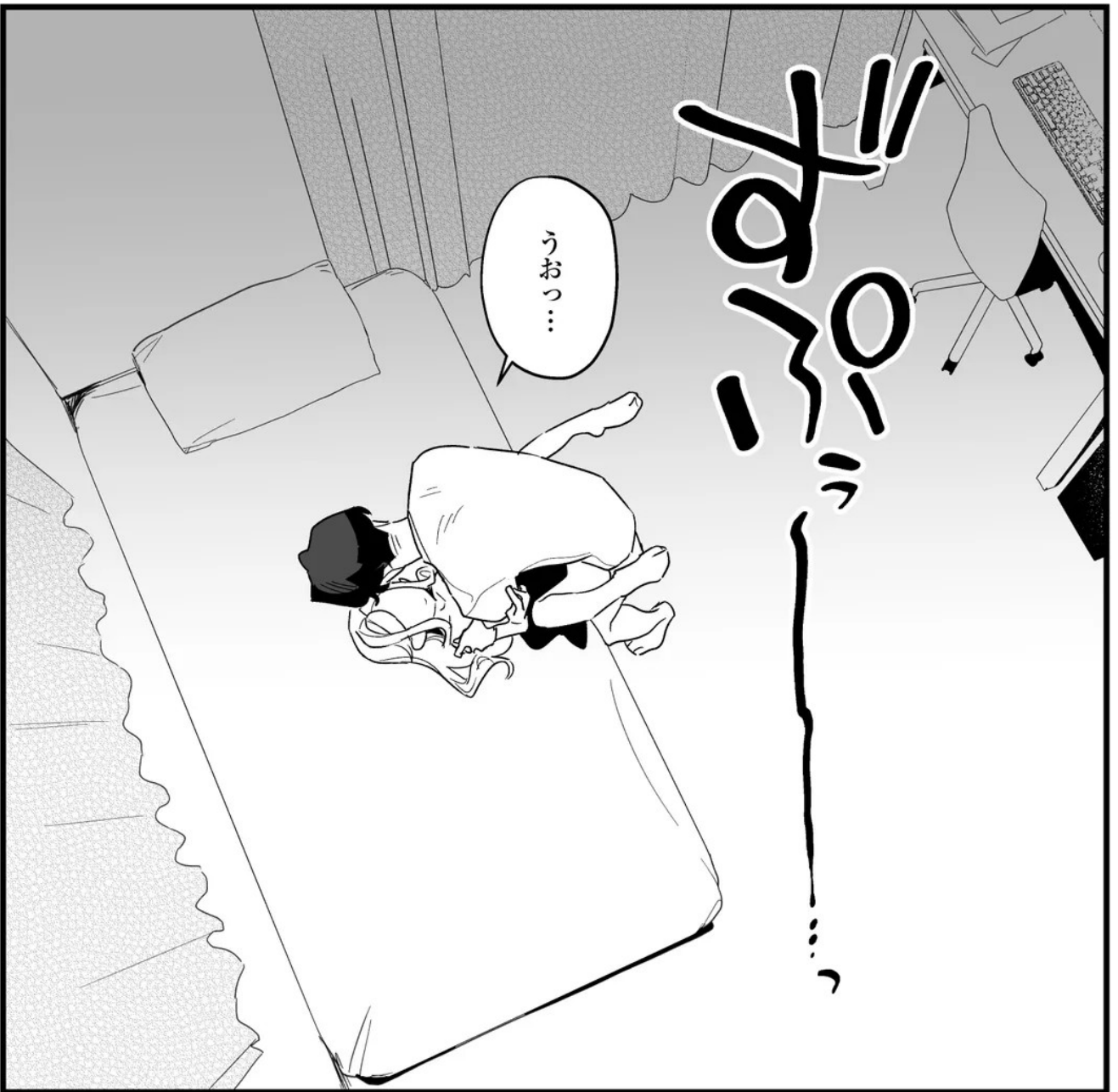
あたまが

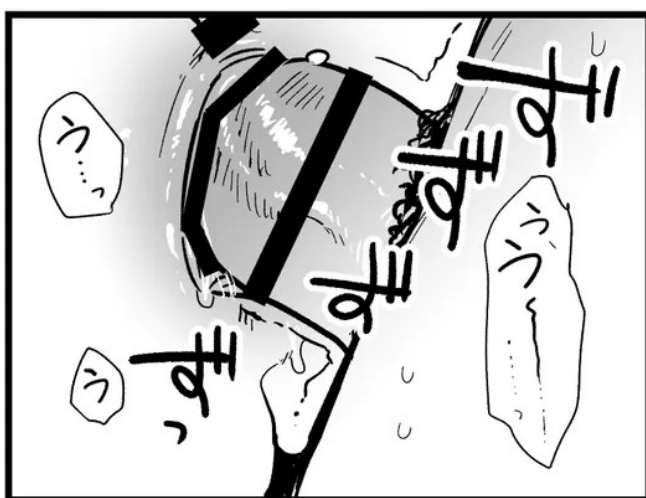
おかしくなる

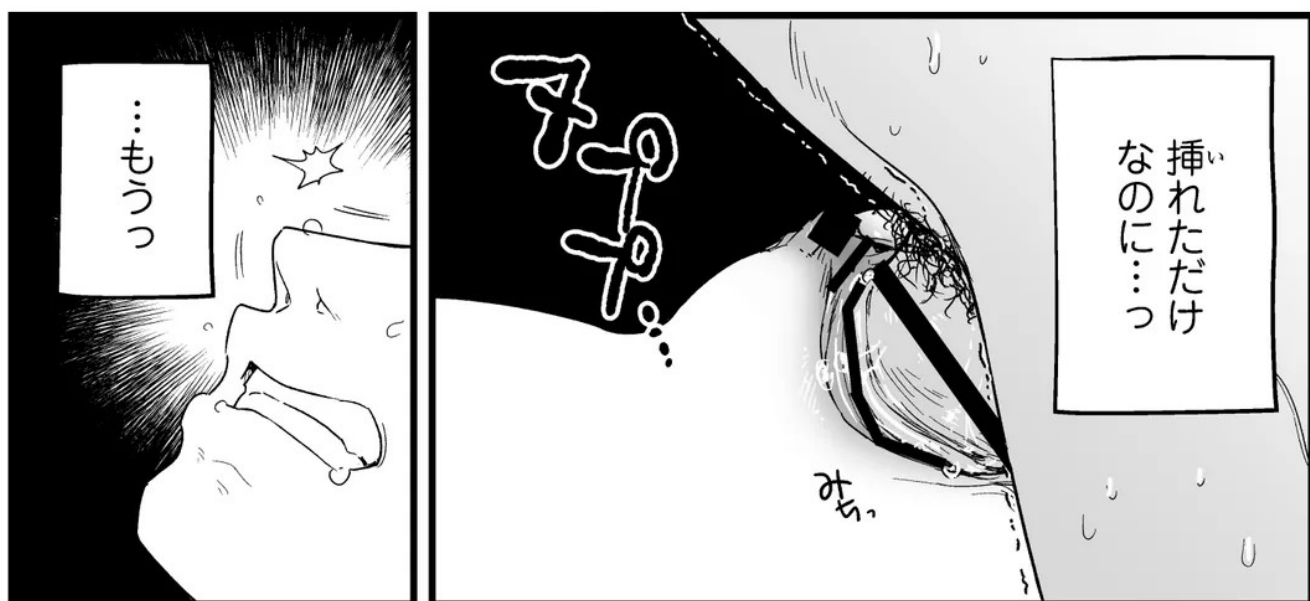


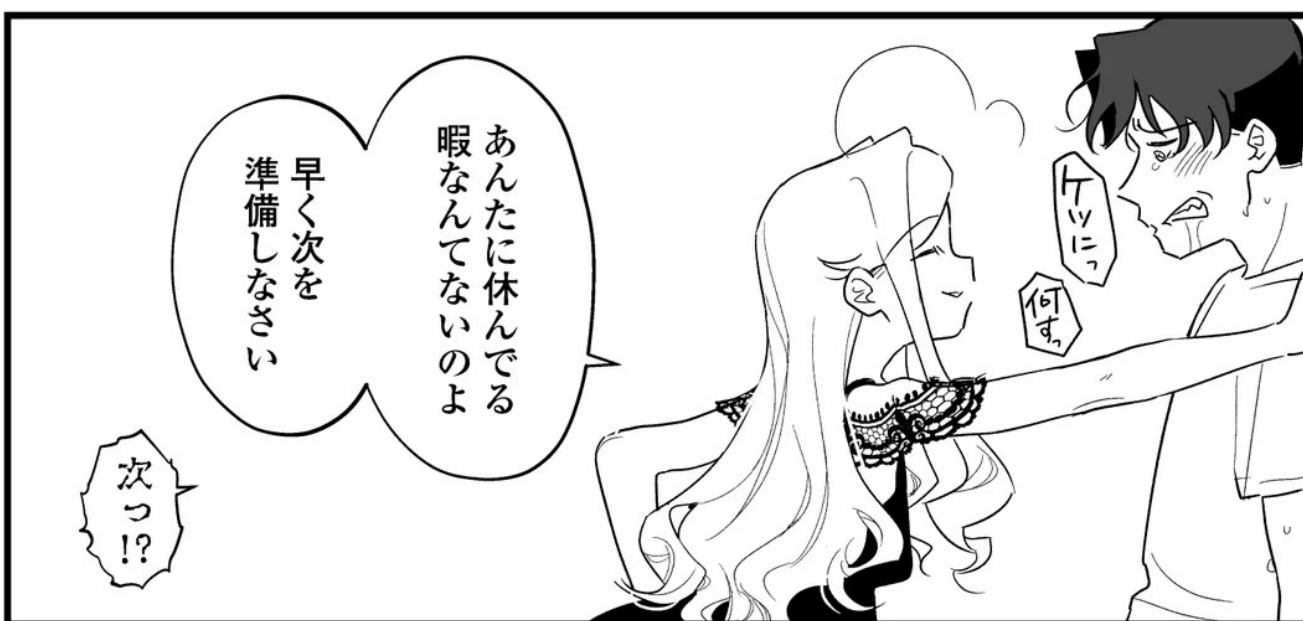
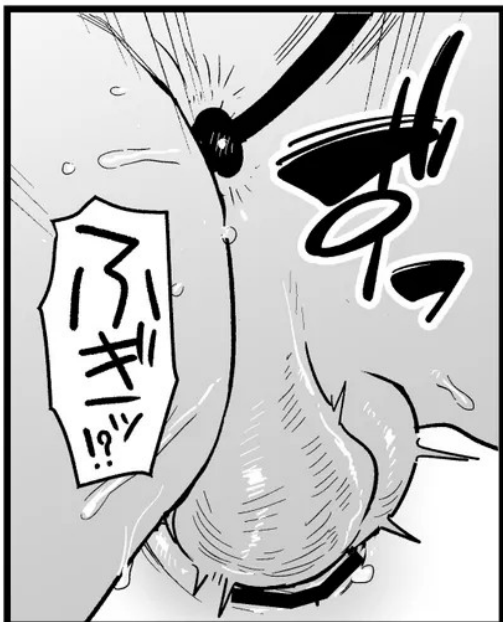


た・だ・い・ま・♡









ウソだろ…
今全部出した
ばっかなのにっ

ケツとチンコ
同時攻撃で

強制的に
勃起させられっ

やめっ
すき
それっ

なにこれ？

気持ちよく
してくれよう
としてる？

ったくも〜

しょうが
ないわね〜

出り、しぬっ

ごめんな

すき

腰が勝手に
ガクガクするっ

あこあこ♡

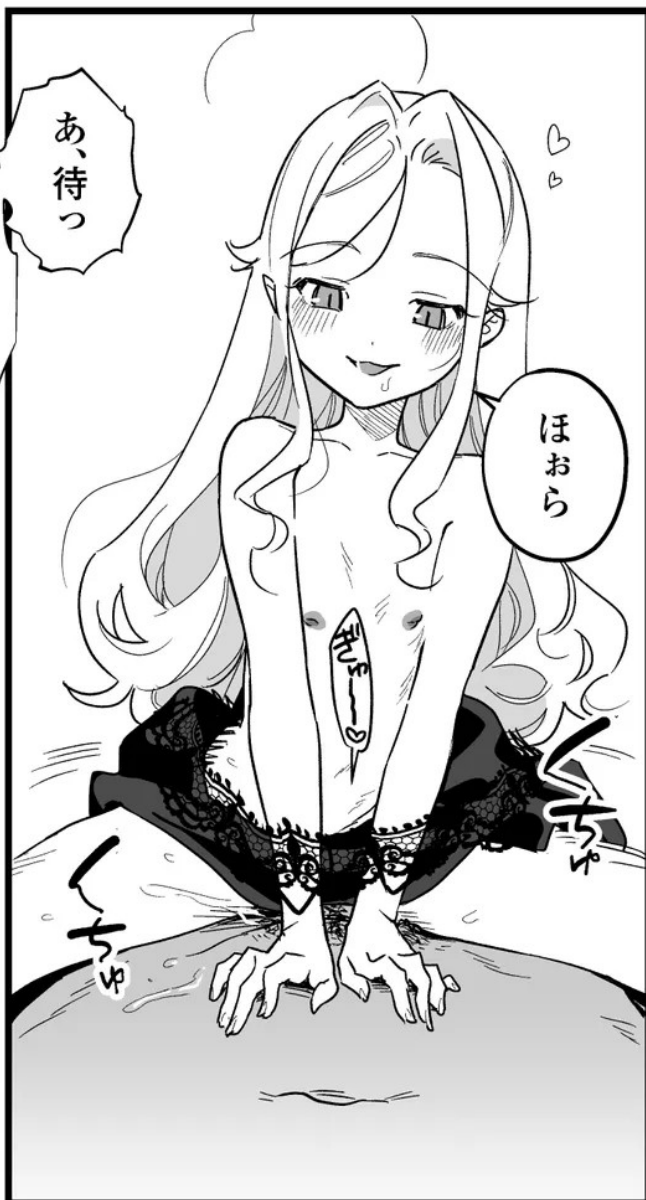
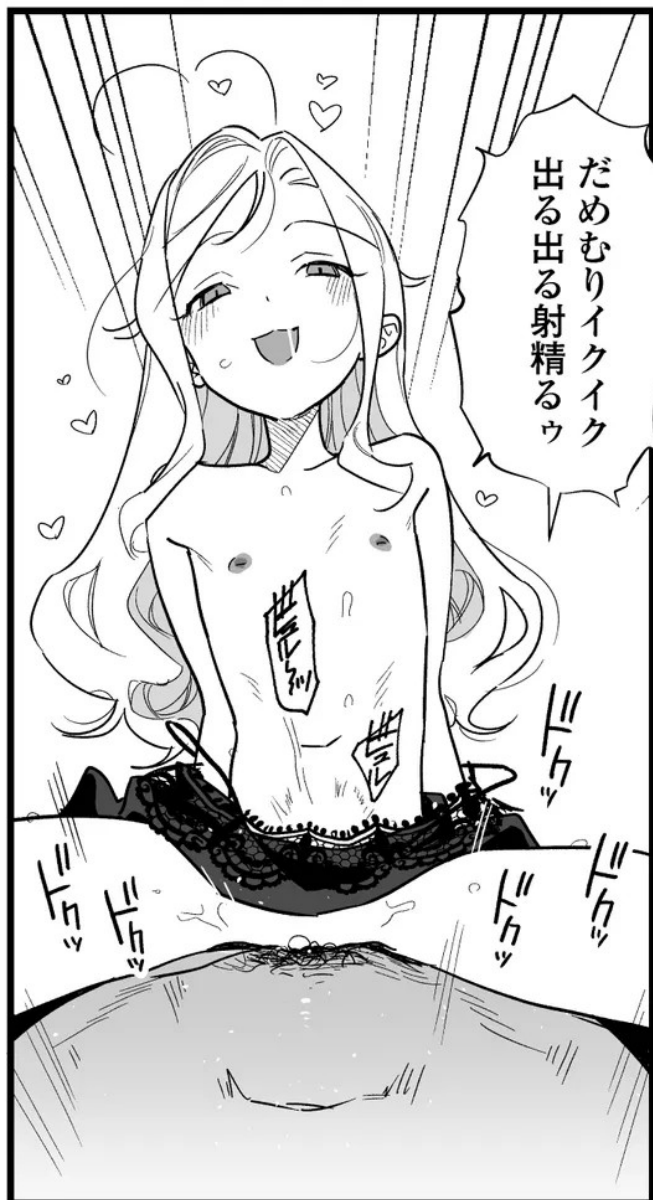
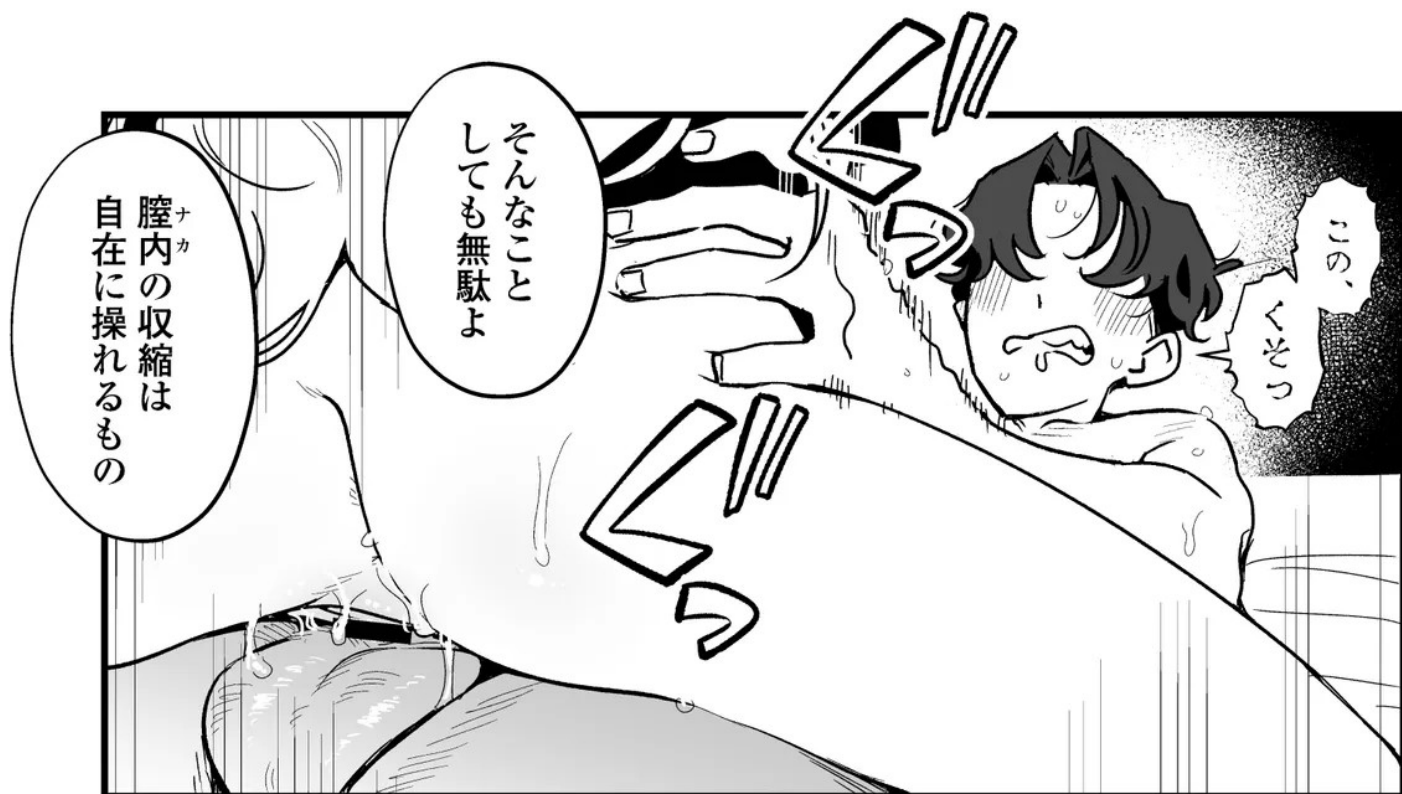
きもちい♡

たん♡

たん♡

ば、バカに
しやがって!!

たん♡



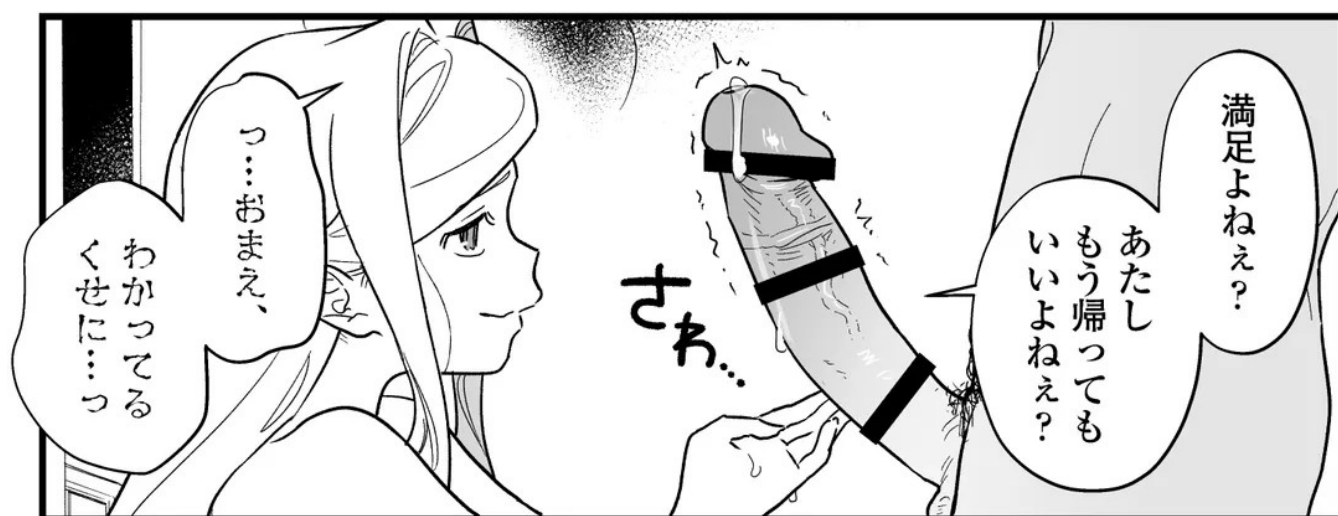
実際
そうだった

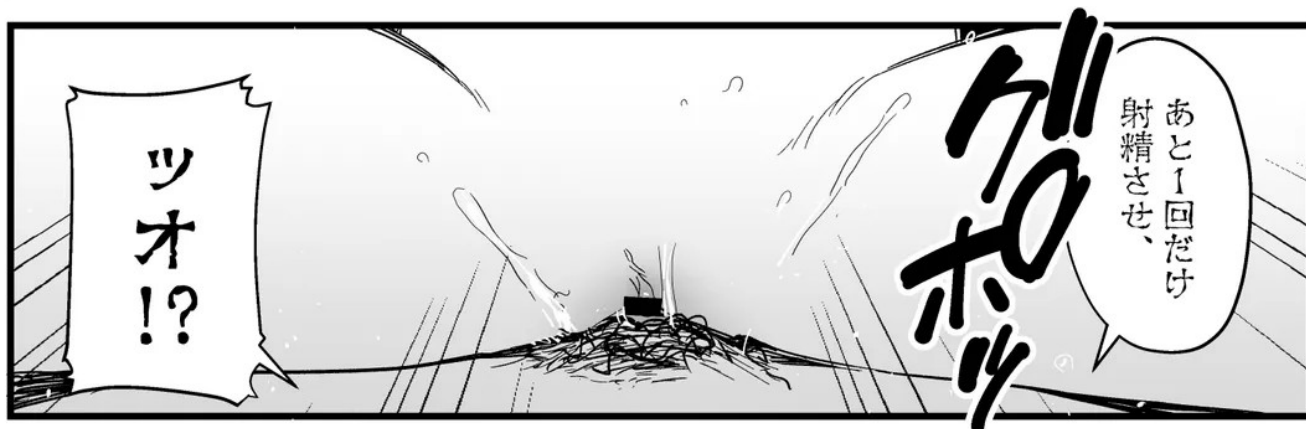
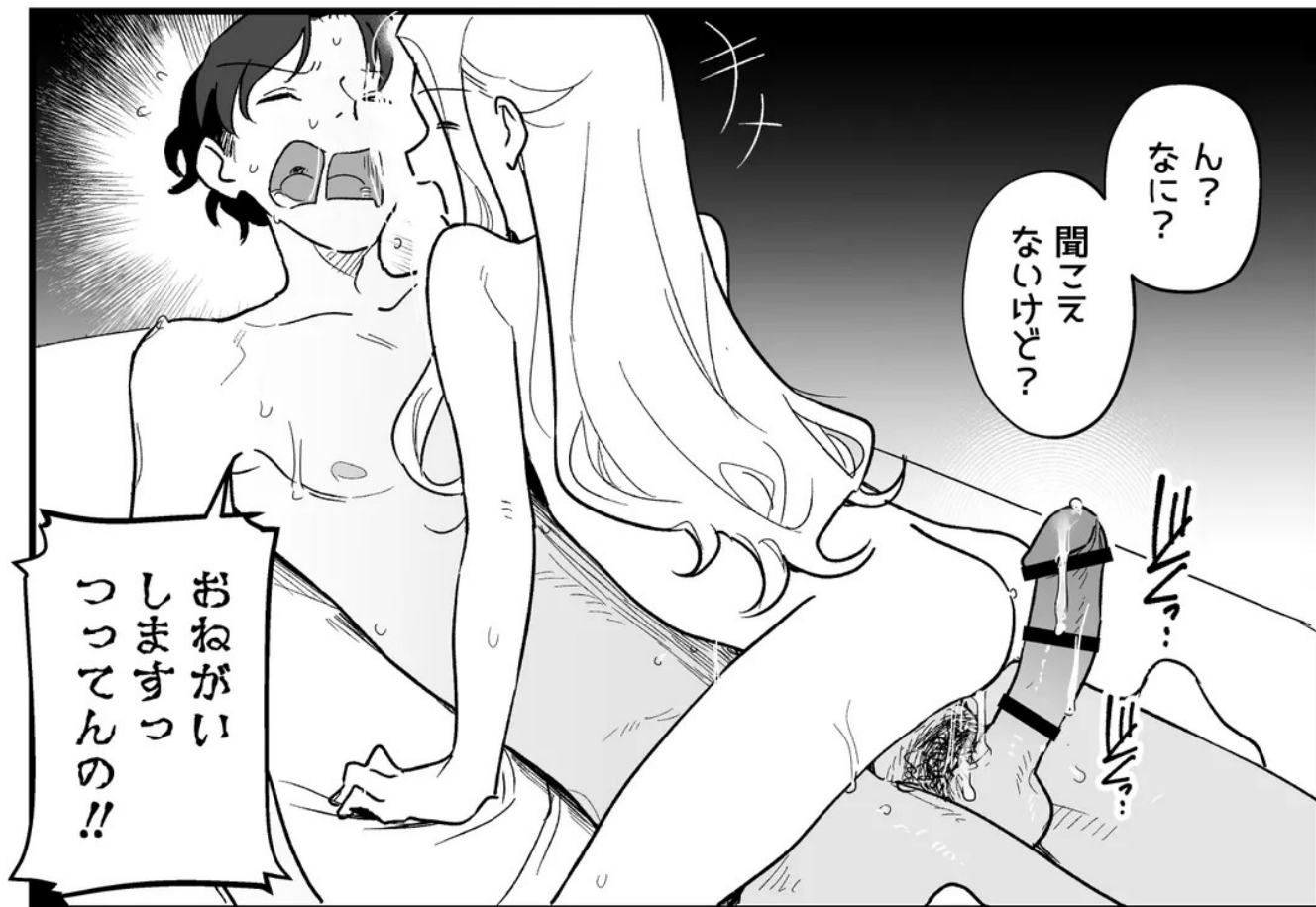
ちんこはまだ
射精したりなくて
勃起したままだし

さっきの射精を
思い出すだけで…

…あんた

射精したくて
したくて
あたしのこと
呼び戻したん
でしょ？





あーっはっは!!

そう言った奴は
みくんな

死ぬまで
射精し続けたわ!!

あと1回って
言い続けてね!!

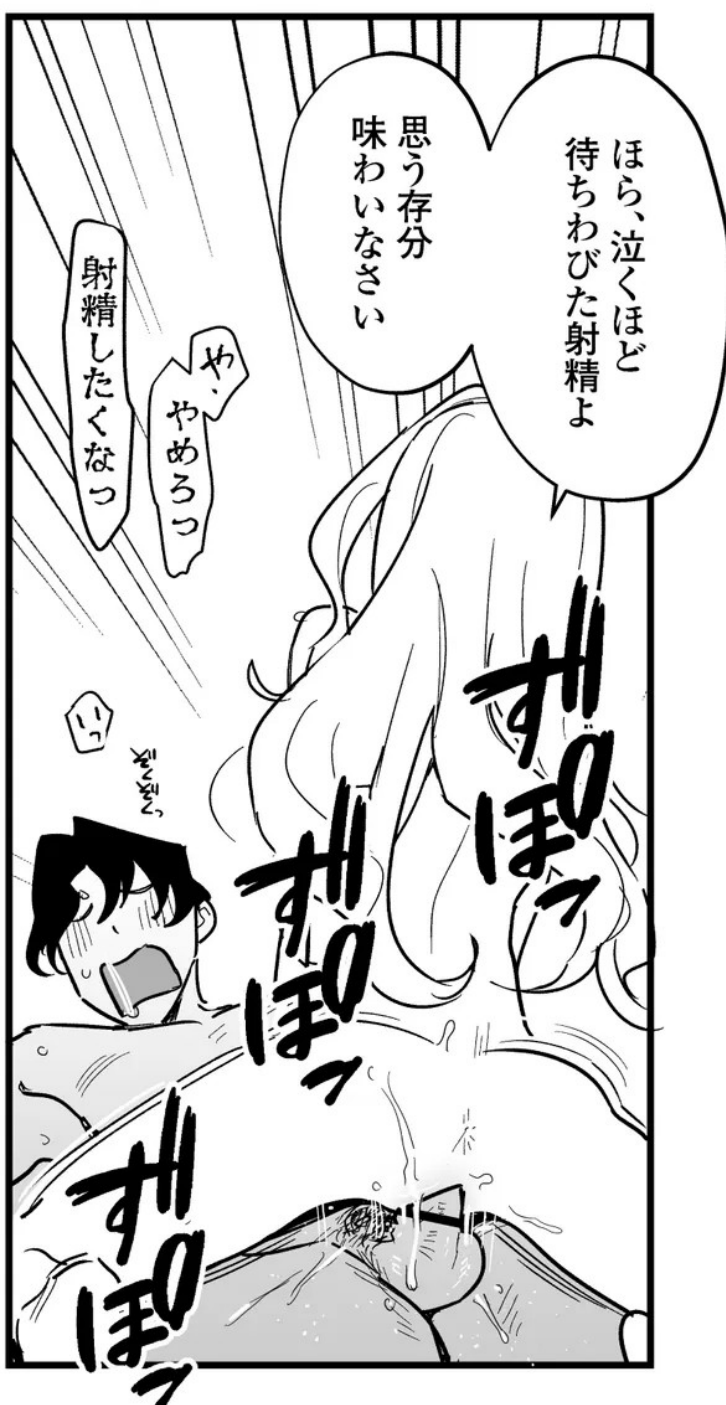
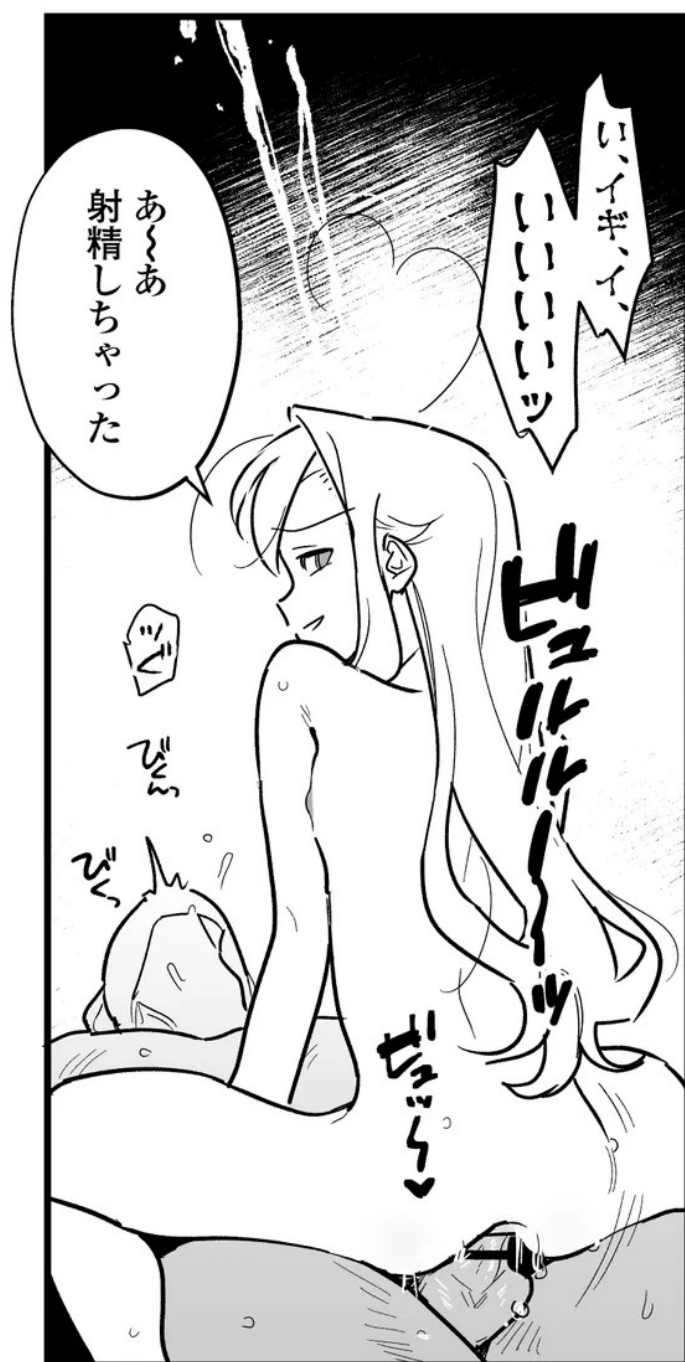
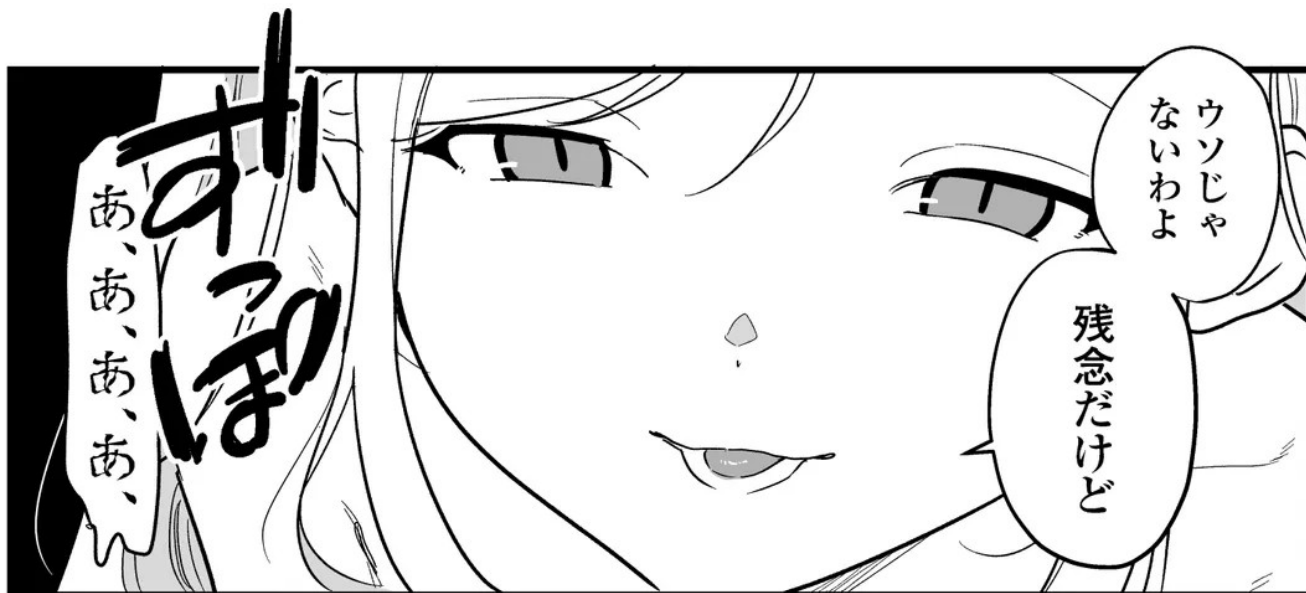
ウソだろ!?

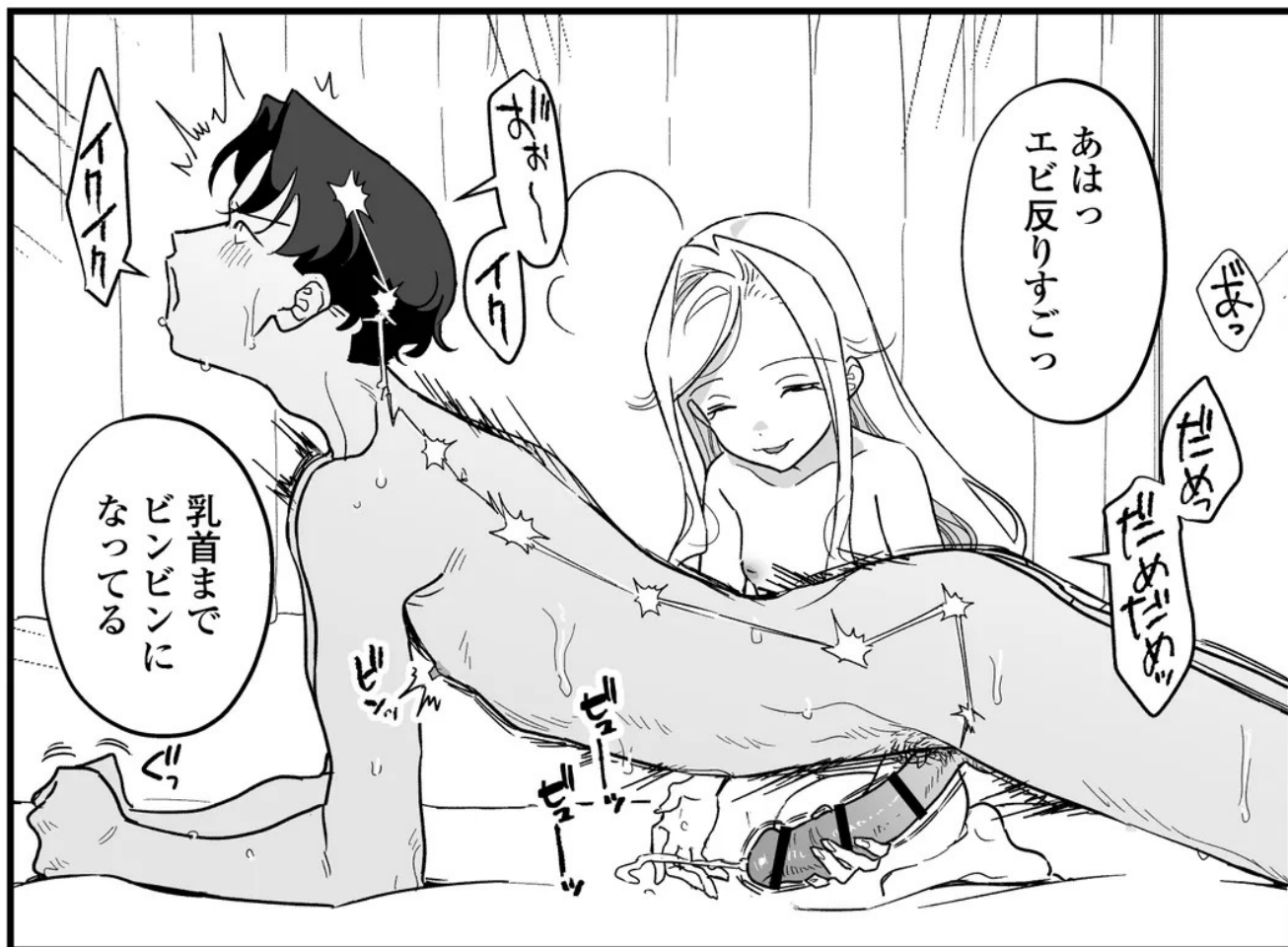
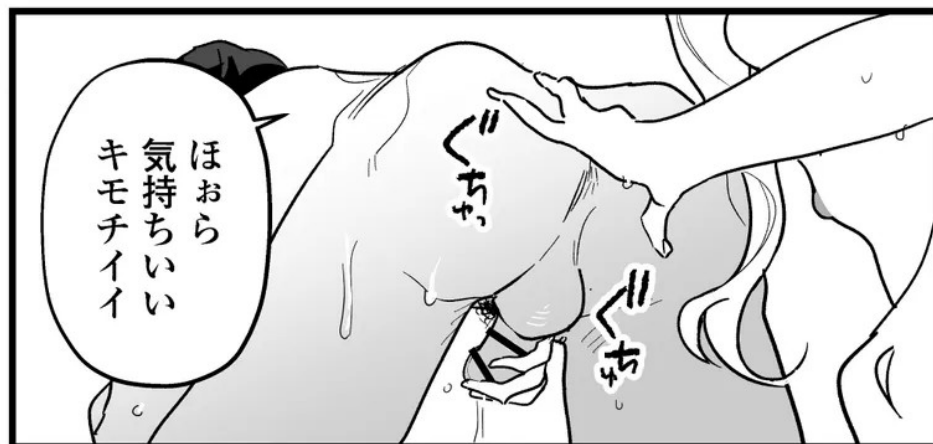
死ぬまで!?

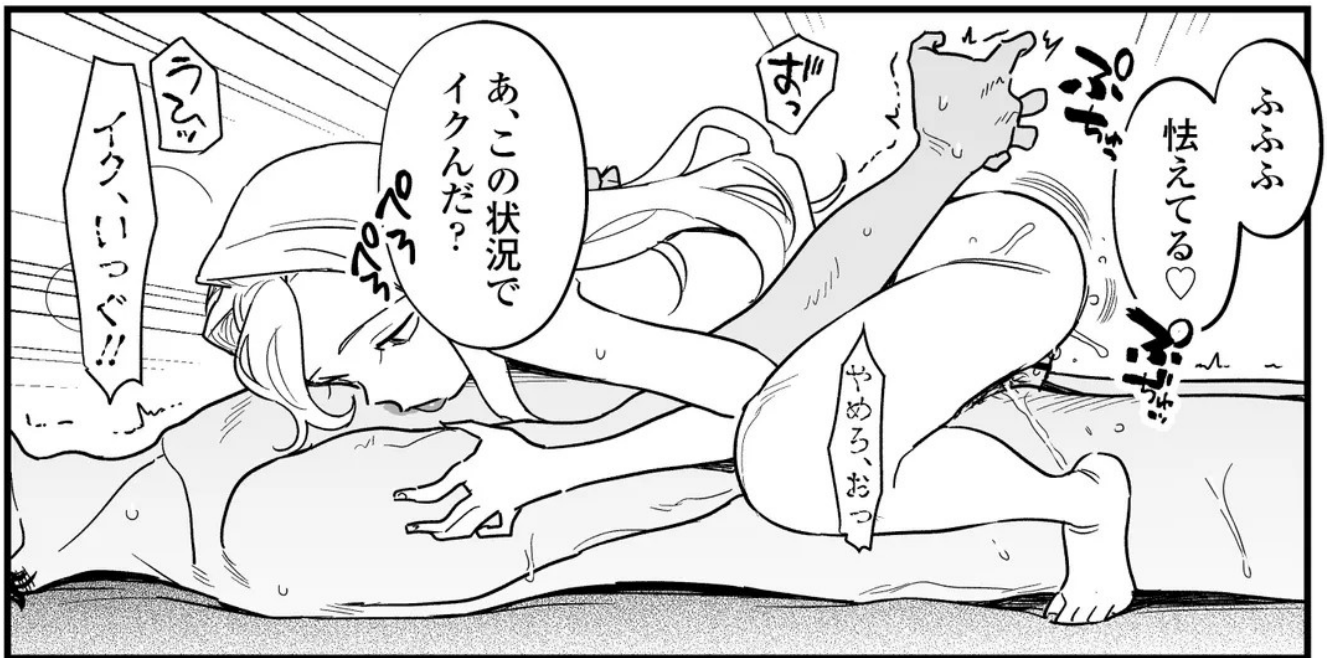
みくんな

おっは

おっは







あつは、さつきより
勢いがあるじゃない

あんた
酷いマゾね

うお、オ

ヒュルルッ

でもさすがに
早漏すぎるわね

シヨックで
すぐ死ん
じゃいそう

ちょっと我慢して
みてちょうだい

は、我慢っ？

できるわけっ

今、できるわけない
って思ったでしょ？

もう終わりね

あんた本当に
死ぬわよ

さっきあと1回
って言うってから

何回射精
したかしらね？

ほら、こんなこと
言われてるのに

また
射精しそうに
なってる

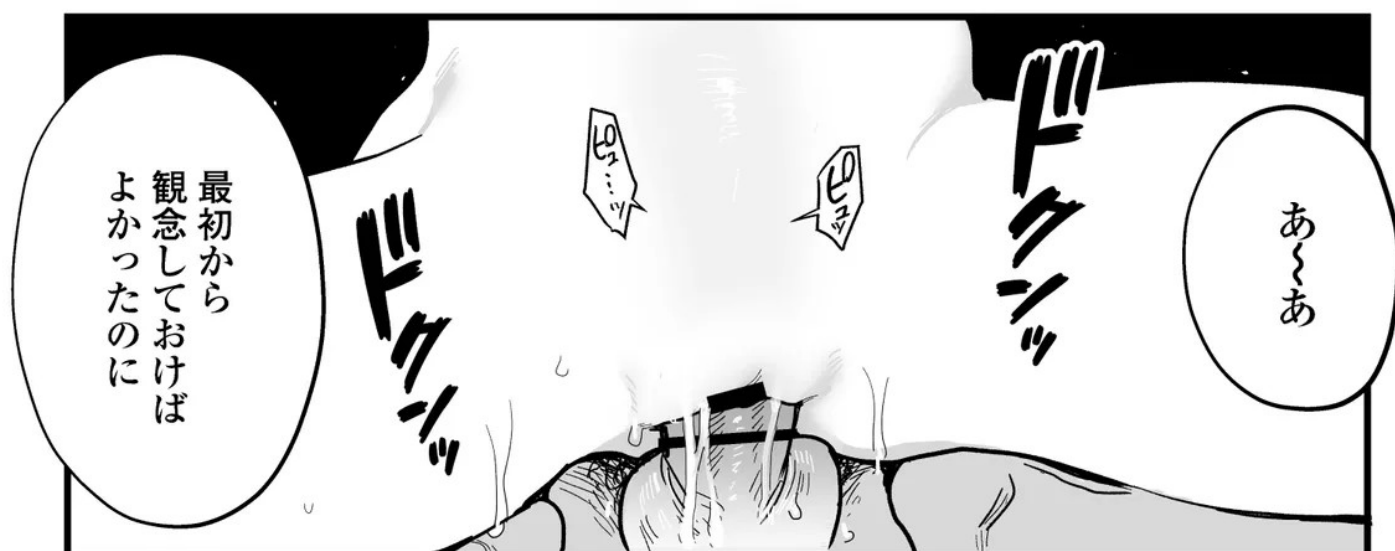
今更怖くなって
きたの？

だいじょうぶ

あと1回なら
大丈夫よ

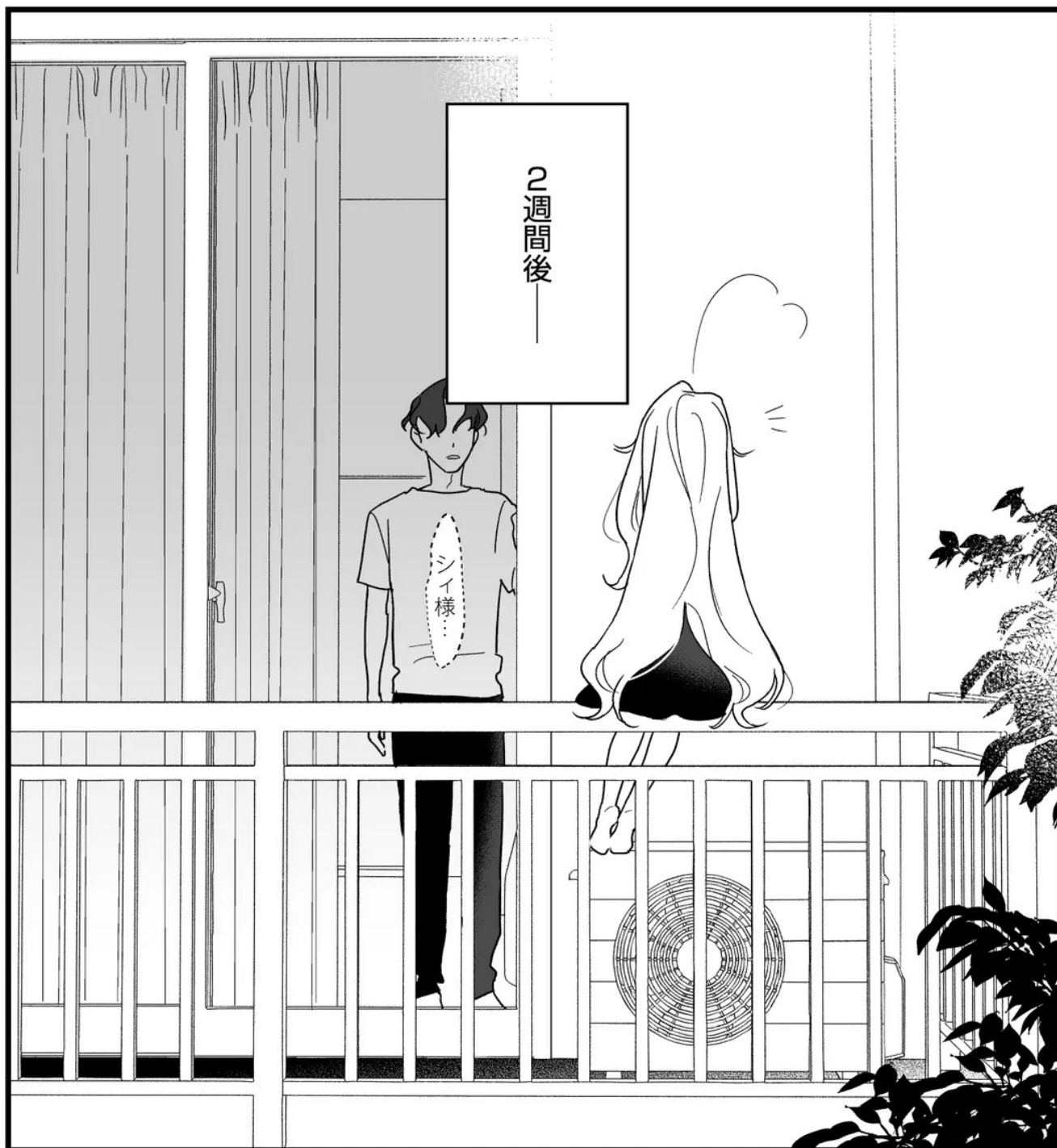


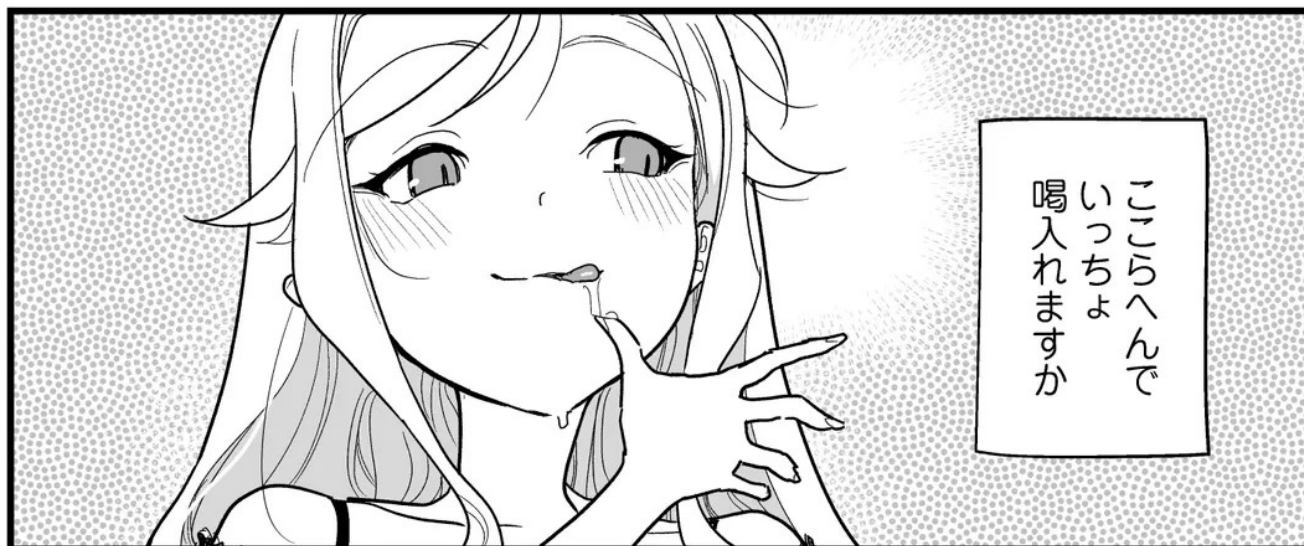
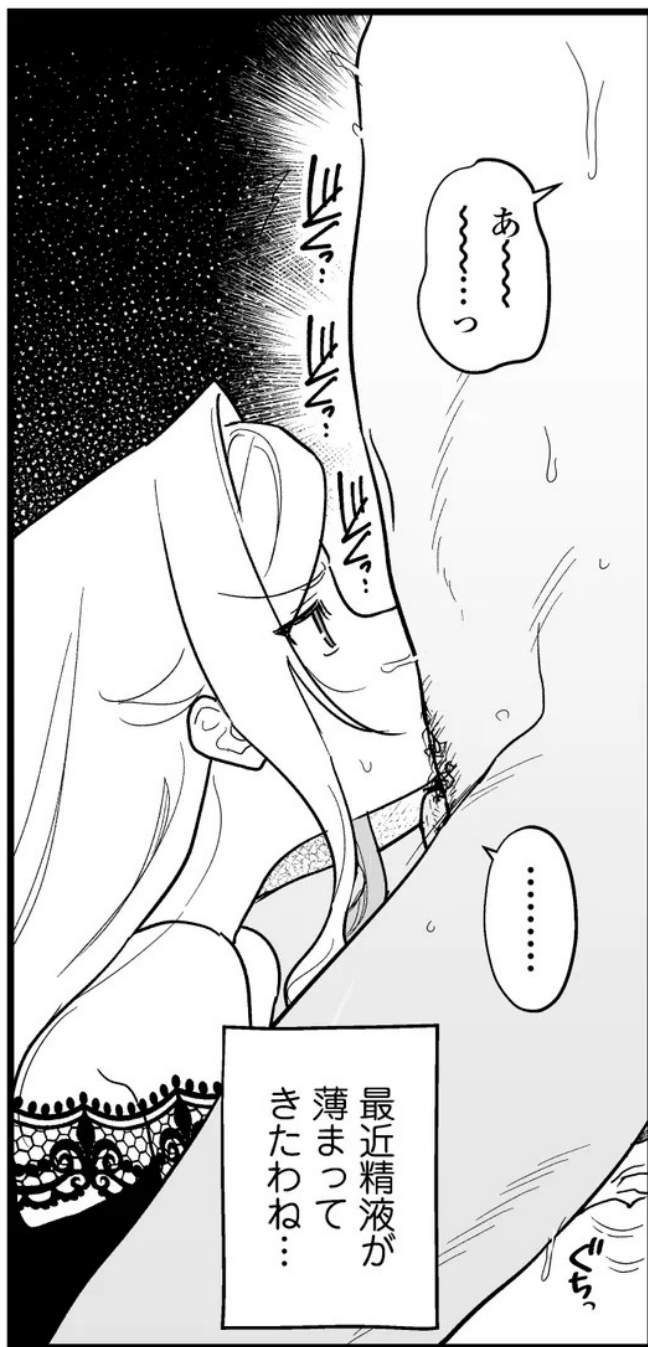






俺はその後のことを
何も覚えていない。





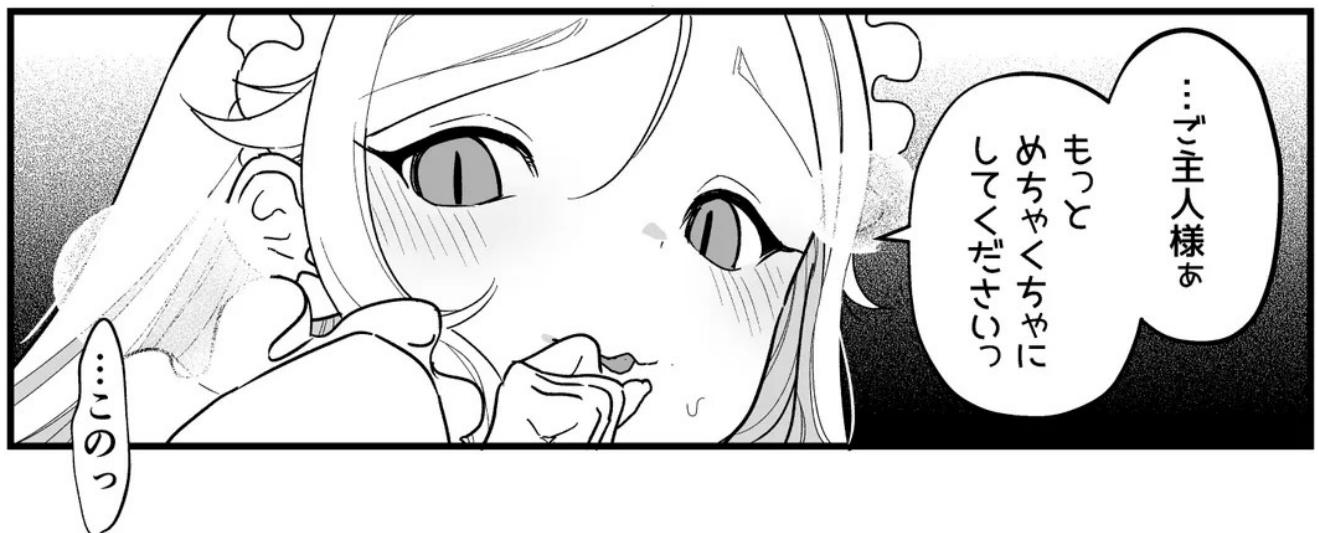
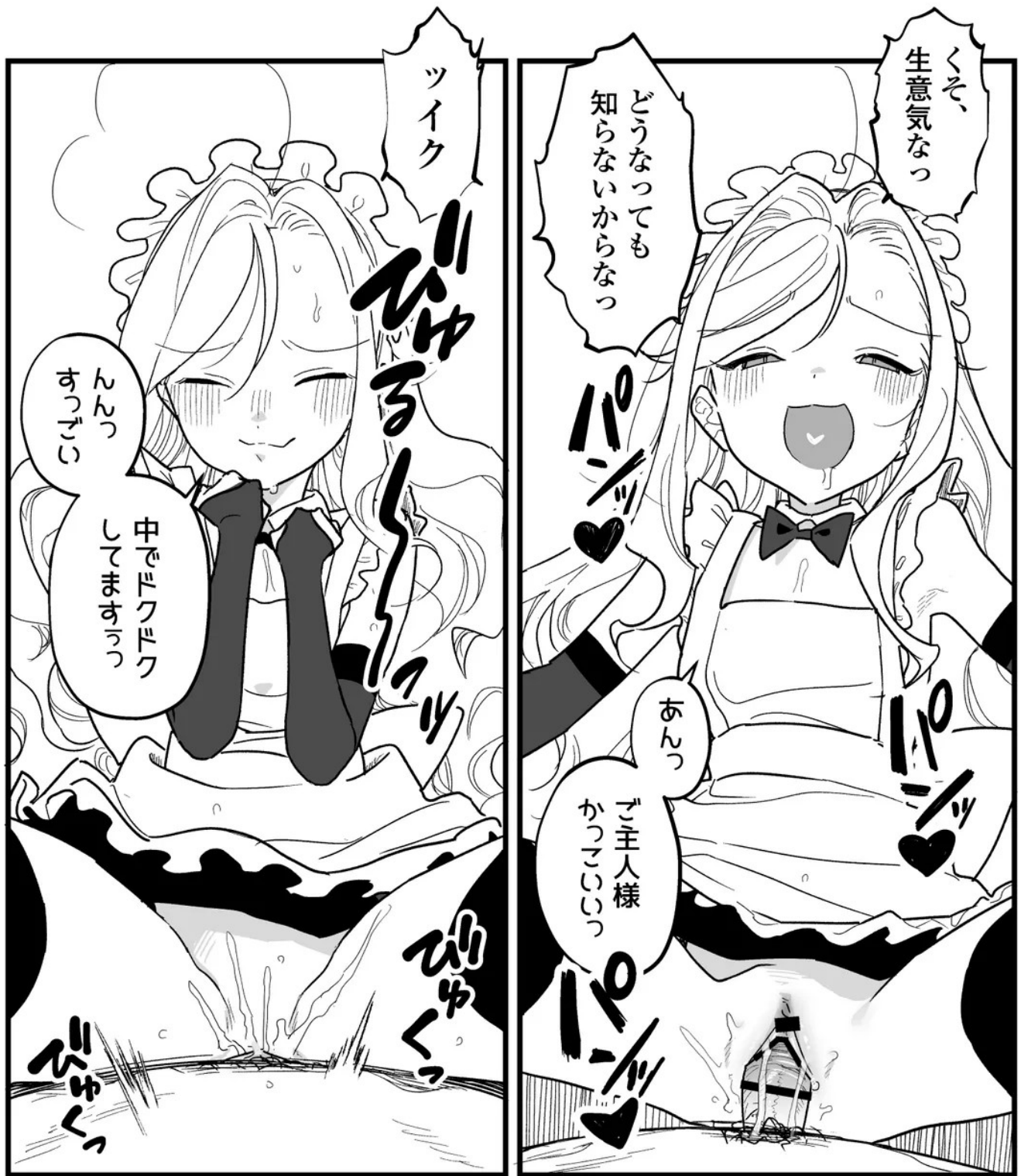
翌日

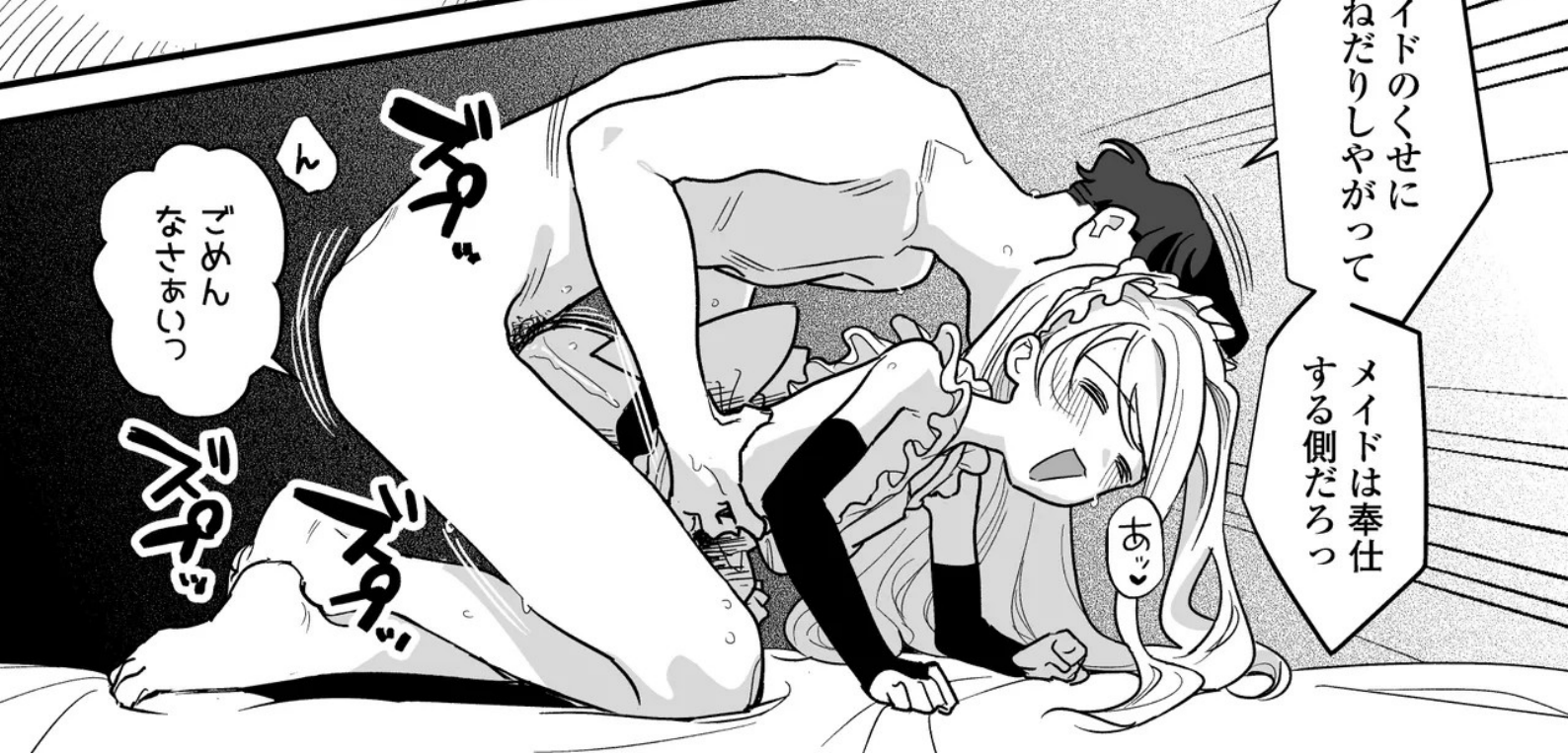
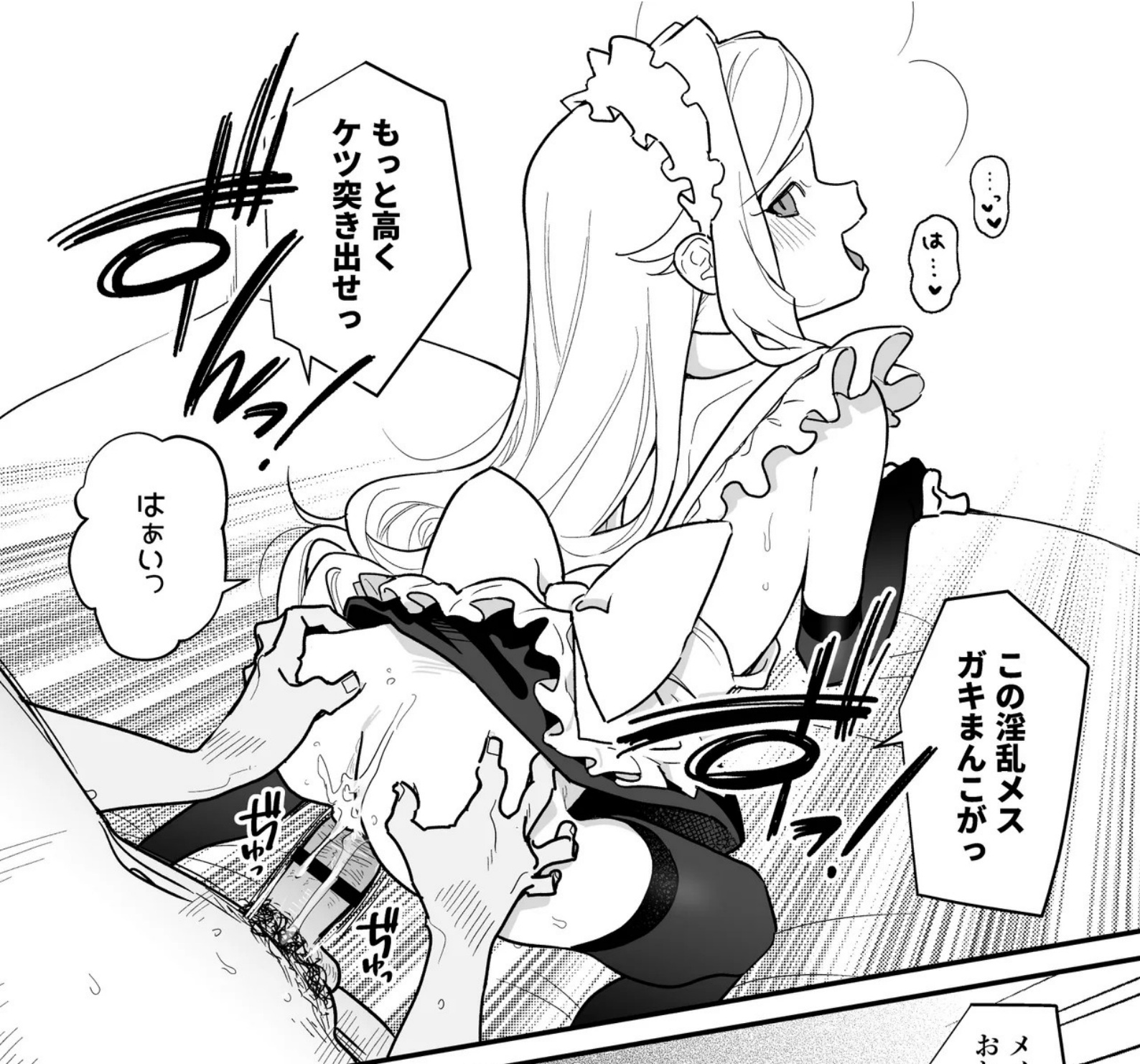
おかえり
なさいませ
ご主人様あ

おまんこでも
おクチでも

好きなように
使ってくださいっ

……ッ



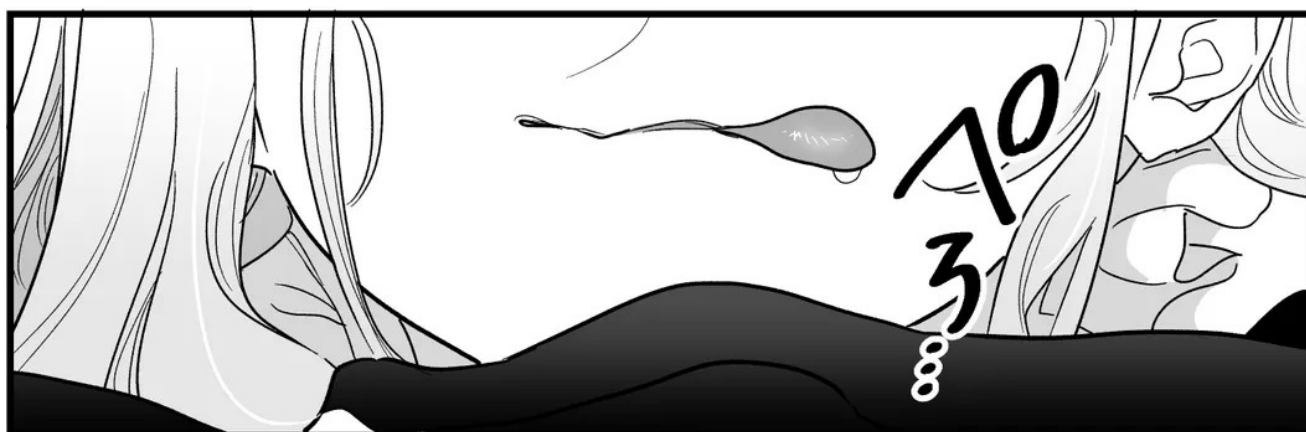






男は腰を打ち付け
身勝手に射精する





次はあなたよ。

キャラクター紹介

名前：シィ(3番目の個体「C」から。)

身体：140cm程度。30kgもないくらい軽い。爪と髪の毛は長い。

年齢：自称600歳(見た目は小学4～5年生程度に見える。)

食事以外のことについては幼稚さが抜けない。

だが搾精となると驚異の妖艶さを醸し出し、男を籠絡する。

女形の夢魔。夢魔とはいえ実体があり、人間生活に溶け込んでいる。

精子の中からテロメラーゼ(テロメアを長くする物質)を貰うことで生き永らえているらしい。

全身の体細胞40兆個分÷1回の射精で出る精子4億匹=10万回ノ？

そんなに射精させるのは大変なので、必要のないときは実体を極限まで減らしている。

超長寿命ゆえに代謝がとても遅いしあまり動きたがらない。

普通にご飯を食べて生きているが、そんなにおなかは空かない。

(具体的には、最悪の場合1年単位でごはんを食べなくてもいいらしい。)

その正体は、錬金術師の生み出したホムンクルス。ゆえに魔術の心得はひと通りある。

全世界にそこそこの人数がいて考えられているが、摂取した精子の遺伝情報の影響を

受けて徐々に容貌が変化していくので、数年姿をくらませればわからなくなってしまう。

(まあそもそも見た目を変える魔術なども心得ているのだが、極力エネルギー消費は避けたいところ。)

夢魔の味覚において、精液の味は(人によるらしいが)全体的に「家系ラーメン」に近い味だという。そして、主人公の精液はこの100年での百名店に載せてやってもいいくらいらしい。(意訳：美味しい)



髪色：金

瞳色：赤

アルビノ傾向があり、もともと髪色は白だった。白髪であることを誇りに思っていたが、年を取るとともに黄色味がかってきており、それを結構気にしているので指摘すると怒る。

髪には気を使っており、傷まないように多少の生命維持コストは度外視しているらしい。

尻尾：あり

人間ではないことがバレるのが嫌で、尻尾は普段隠している。

搾精時には便利なので第3の腕として使う。隠すのにも魔力を使うので、誰もいなさそうな時は出しっぱなしにしてしまうこともある。

あとがき

サキュバスといえばどんな姿を思い浮かべるでしょうか。

普通に考えたら、おっぱいとお尻が大きいドスケベボディですね。
男から精液を奪いたいのであれば、より多くの男にとって好まれるボンキュッボンなボディデザインとして生まれてくるのが自然です。

ですが、今回のシィ様は違います。

彼女は厳密にはサキュバスではありません。錬金術師によって造られた人造人間、ホムンクルスです。

製作者の不手際で、被験体3番目である「C」(シィ)は、精液を糧として生きるのには不向きな、小柄な身体での生活を余儀なくされています。

あばらの浮きそうな薄い胸、両手で掴めそうな細い腰。そんなハンディキャップをものともせず、逆にギャップとして魅せるように妖艶に振る舞うC。

まあ、何が言いたいかというと、シィ様の妖艶さは彼女の不断の努力によって生み出されたものであり、決して最初から魔性の女だったわけではないということです。

「ガキ相手じゃ勃たない」と言われれば落ち着いた態度や余裕を身につけられるまで何度も何度も場数を踏んだり、「罪悪感がすごい」と言われれば、罪悪感を逆手に背徳感に変えてみたり……………

それでも飢えに苦しみ、時には霊体化までして生きながらえてきた彼女だからこそ、今回のように簡単に現代人の若者を掌握できるようになったのではないかと思います。

エースちゃんやビィちゃんもどこかにまだいるのでしょうか。彼女の姉妹たちについても描いてみたくなりますね。

最後に、この作品を読んでもくださった貴方へ
多大なる感謝を申し上げます。
ありがとうございました。

よろしければ感想・レビューなど頂けますと、
今後の励みになります。
どんな些細なコメントでも構いません。
是非是非お寄せくださいませ。

それでは、またどこかで。

